



冷媒 R410A 対応

三菱電機 設備用パッケージエアコン ファシリアDD

形名

標準タイプ

PFHV-P224,280,450,560,
670,800,1120,1400,1600DMJ3

オールフレッシュタイプ

PFHV-P265,335,530,670,
1000,1250,1600DMJ3-F

取扱説明書



もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	3
1. 各部の名称	7
2. 付属品	9
3. 別売部品・別売品	11
4. ご使用の前に	12
5. 使用方法	15
6. お手入れ	50
7. 定期点検のお願い	58
8. 製品独自のお願い事項	61
9. 据付工事の確認と試運転	62
10. 仕様	63
11. 修理を依頼する前に	67
12. 法令関連の表示	69
13. 保証とアフターサービス	71
14. 環境関連の表示	73

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は室内ユニットに添付しています。室内ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入を確かめて、販売店（工事店）からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

	ページ	ページ	
安全のために必ず守ること	3	13. 保証とアフターサービス	71
1. 各部の名称	7	13-1.保証について	71
1-1. 室内ユニット	7	13-2.保証できない範囲	71
1-2. 室外ユニット	8	13-3.補修用性能部品の保有期間	71
2. 付属品	9	13-4.修理を依頼されるときは（出張修理）	71
3. 別売部品・別売品	11	13-5.お問い合わせ	72
4. ご使用の前に	12	14. 環境関連の表示	73
4-1. 取扱い上のごお願い	12	14-1.再資源化について	73
4-2. 各種運転について	14	14-2.フロン排出抑制法	73
5. 使用方法	15		
5-1. リモコンの操作について	15		
5-1-1. 各部の名称とはたらき	15		
5-1-2. 画面の流れ	19		
5-1-3. 取扱説明書内のアイコンの説明	20		
5-2. 基本操作	21		
5-2-1. 運転・停止	21		
5-2-2. 運転モード・温度設定・風速	22		
5-3. メニュー操作	25		
5-3-1. メインメニュー一覧	25		
5-3-2. メインメニュー画面での操作のしかた	27		
5-4. 各種設定操作	28		
5-4-1. 初期設定	28		
5-4-2. 機能選択	41		
5-5. その他の操作について	45		
5-5-1. 長期間使用しないとき	45		
5-5-2. データモニタリング機能	46		
5-6. Bluetooth 設定について	47		
5-6-1. ご使用の前に	47		
5-6-2. 使用方法	47		
6. お手入れ	50		
6-1. お手入れの方法	51		
6-1-1. エアフィルターの清掃	51		
6-1-2. パネル（表面）の清掃	57		
6-1-3. 熱交換器の洗浄	57		
6-1-4. ユニット内部品のお手入れ	57		
7. 定期点検のごお願い	58		
7-1. 機器予防保全の目安	60		
7-2. 消耗部品の点検周期目安	60		
8. 製品独自のごお願い事項	61		
8-1. 廃棄について	61		
8-2. 移設時の据付場所について	61		
9. 据付工事の確認と試運転	62		
10. 仕様	63		
10-1. 標準仕様	63		
10-2. オールフレッシュ仕様	65		
11. 修理を依頼する前に	67		
12. 法令関連の表示	69		
12-1. 標準的な使用条件	69		
12-1-1. 使用範囲	69		
12-1-2. 使用条件・環境	69		
12-2. 工事設計認証について	69		
12-3. 商標について	70		

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

- ◆封入すると、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・火災・爆発の原因になります。
 - ◆法令違反の原因になります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

吹き出し風を対象に直接当てない。

- ◆体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

冷やし過ぎない。

- ◆体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

以下の特殊な環境では使用しない。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・粉じん・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ



使用禁止

- ◆性能低下・腐食により、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災の原因になります。

吹き出しの風が直接あたるところに燃焼器具を置かない。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしない。

- ◆保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。
- ◆設定を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。



変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけない。

- ◆ 工具などが落下すると、けがの原因になります。



禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしない。

- ◆ 引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹き付けたりしない。

- ◆ 変形・引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しない。

- ◆ ヒューズ以外のものを使用すると、発火・火災の原因になります。
- ◆ 指定容量のヒューズを使用してください。



禁止

以下の場所にコントローラを設置しない。

- ◆ 心臓ペースメーカー装着者が使用する可能性がある場所
- ◆ 医療用電気機器が近くにある場所
- ◆ 自動ドアや火災報知機などの自動制御機器が近くにある場所
- ◆ 上記機器の動作に影響を与える事故の原因になります。
- ◆ 設置する場合は、コントローラの電波放射を停止してください。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れない。

- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷の原因になります。
- ◆ 保護具を身につけて作業してください。



接触禁止

電気部品に水をかけない。

- ◆ 水がかかった状態で使用すると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

水の入った容器を製品などの上に載せない。

- ◆ 水がこぼれると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。
- ◆ ぬれた手を拭いてから、作業してください。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業する。

- ◆ 落下・転倒により、けがの原因になります。



指示を
実行

掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、主電源を切る。

- ◆ 運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。
- ◆ 回転機器により、けがの原因になります。



指示を
実行

換気をする。

- ◆ 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆ 冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生の原因になります。



換気を
実行

燃焼器具を使用する場合は換気をする。

- ◆ 不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒の原因になります。



換気を
実行

室内温度を管理する。

- ◆ 体調悪化や健康障害、食品劣化の原因になります。



指示を
実行

アルコールで消毒した場合、換気をして周囲に充満するアルコールガスを取り除く。

- ◆ ガスを取り除かずに電源を入れると、引火・爆発の原因になります。
(本製品は防爆仕様ではありません)



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- ◆ 異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。
- ◆ お買上げの販売店・お客様相談窓口ご連絡してください。



指示を
実行

端子箱・制御箱のカバーまたはパネルを取り付ける。

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



指示を
実行

制御箱のカバーを取り外して作業をする場合は、専門業者に依頼する。

- ◆ けが・感電の原因になります。



指示を
実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



指示を
実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検する。

- ◆ ユニットの転倒・落下（据付場所により異なる）により、けがの原因になります。



指示を
実行

注意

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしない。

- ◆ ユニットの転倒や載せたものの落下により、けがの原因になります。



禁止

電気部品に触る場合は、保護具を身に付ける。

- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



指示を
実行

パネルやガードを外したまま運転しない。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



使用禁止

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



指示を
実行

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- ◆ 保存品が品質低下する原因になります。



使用禁止

フィルターを取り外すときは、保護具を身につける。

- ◆ ほこりが目に入り、けがの原因になります。



指示を
実行

吹き出しの風が直接あたるところに動植物を置かない。

- ◆ 悪影響の原因になります。



禁止

吸込パネルを取り付ける場合、スリングも取り付ける。

- ◆ 吸込パネルを開けたとき、手前に倒れると、けがの原因になります。



指示を
実行

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らない。

- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- ◆ 運転停止から5分以上待ってください。



禁止

フィルター・熱交換器は定期的に点検・清掃する。

- ◆ 故障の原因になります。



指示を
実行

部品端面・ファン・熱交換器のフィン表面に触れるときは保護具を身に付ける。

- ◆ けが・感電・故障の原因になります。



指示を
実行

ユニット内の冷媒は、処理業者に依頼して回収・廃棄する。

- ◆ 大気に放出すると、環境破壊の原因になります。



指示を
実行

保護具を身に付けて操作する。

- ◆ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残るため、触れると感電の原因になります。



指示を
実行

販売店または専門業者が定期的に点検する。

- ◆ ユニットの内部に、ごみ・ほこりがたまると、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- ◆ においが発生する原因になります。



指示を
実行

移設・修理をするときに

警告

改造はしない。

- ◆ 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- ◆ 移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼してください。



禁止

分解・修理をした場合、部品を元どおり取り付ける。

- ◆ 不備があると、けが・感電・火災の原因になります。

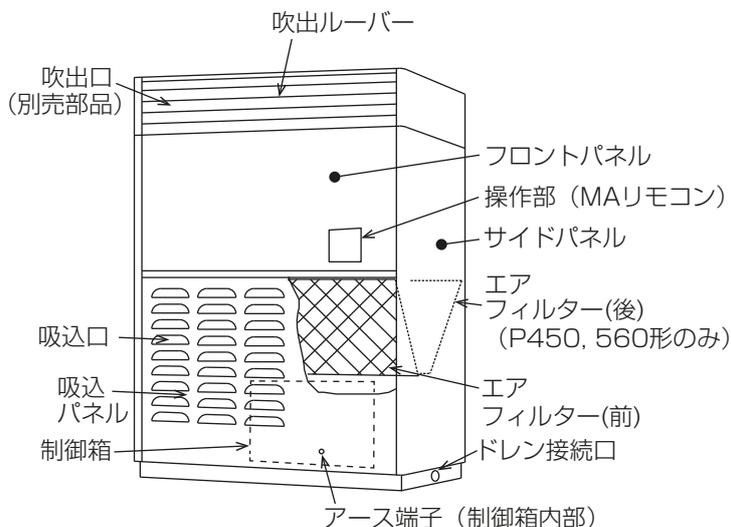


指示を
実行

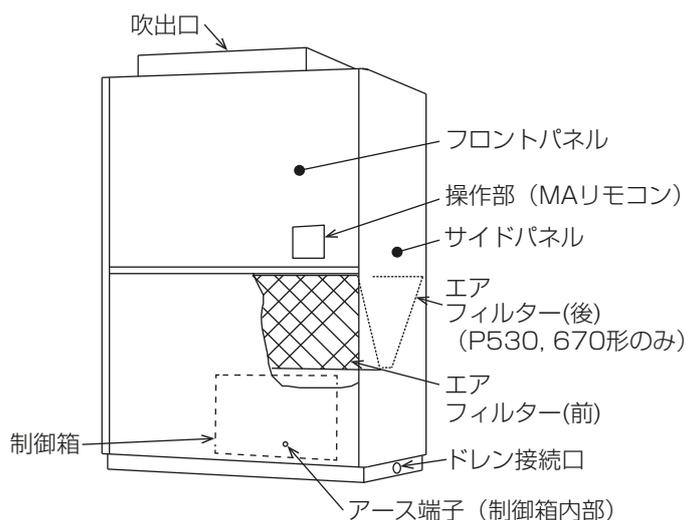
1. 各部の名称

1-1. 室内ユニット

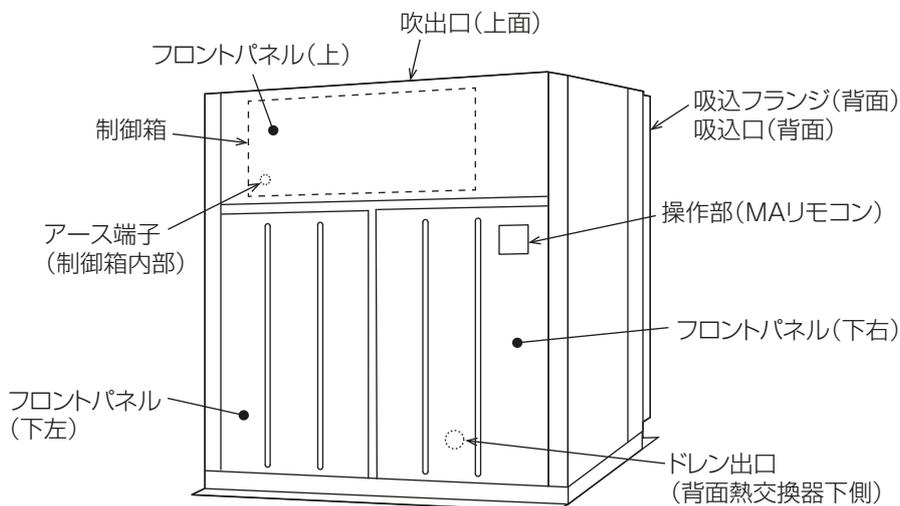
PFAV-P224DMJ3, PFAV-P280DMJ3, PFAV-P450DMJ3, PFAV-P560DMJ3



PFAV-P265DMJ3-F, PFAV-P335DMJ3-F, PFAV-P530DMJ3-F, PFAV-P670DMJ3-F

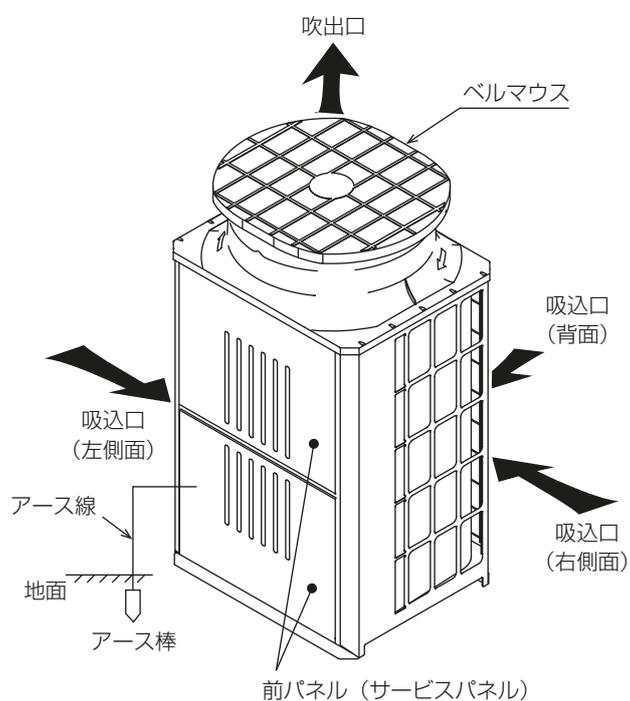


PFAV-P670DMJ3, PFAV-P800DMJ3, PFAV-P1120DMJ3, PFAV-P1000DMJ3-F,
PFAV-P1250DMJ3-F, PFAV-P1400DMJ3, PFAV-P1600DMJ3, PFAV-P1600DMJ3-F



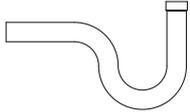
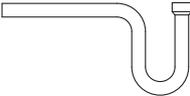
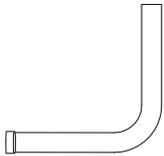
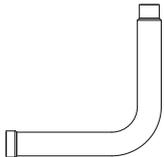
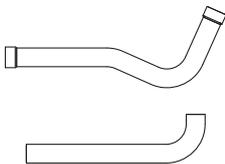
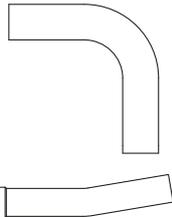
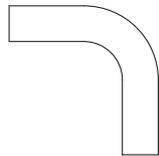
1-2. 室外ユニット

PUHV-P224DMJ3(-BS,BSG), PUHV-P280(S)DMJ3(-BS,BSG), PUHV-P400SDMJ3(-BS,BSG),
PUHV-P450DMJ3(-BS,BSG), PUHV-P500SDMJ3(-BS,BSG)

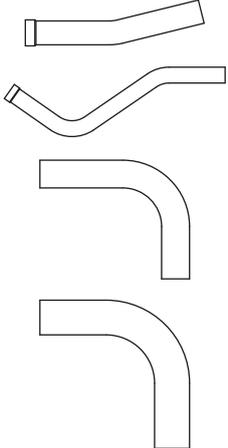
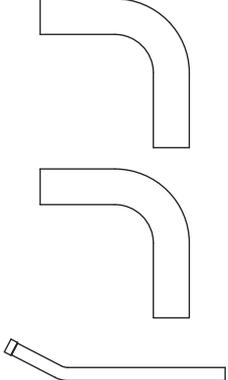


2. 付属品

本ユニットには下記の部品が付属しています。据付作業前に確認してください。

機種	付属品	個数	付属場所	外形
PFAV-P224, 280DMJ3 PFAV-P265, 335DMJ3-F	付属配管 (ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管 (液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P450, 560DMJ3 PFAV-P530, 670DMJ3-F	付属配管 (ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管 (液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P670DMJ3 PFAV-P800DMJ3 PFAV-P1000DMJ3-F	付属配管 (ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P1120DMJ3 PFAV-P1250DMJ3-F				
PFAV-P670DMJ3 PFAV-P800DMJ3 PFAV-P1000DMJ3-F PFAV-P1120DMJ3 PFAV-P1250DMJ3-F	付属配管 (液)	2	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P1400DMJ3 PFAV-P1600DMJ3-F	付属配管 (ガス)	2	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管 (液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	

2. 付属品

機種	付属品	個数	付属場所	外形
PFAV-P1600DMJ3	付属配管 (ガス)	4	ユニット内部 (ドレンパン上)	
	付属配管 (液)	3		

3. 別売部品・別売品

パッケージエアコンは、多様な使い方に対応できるよう専用の別売部品・別売品を用意しています。詳細は、カタログなどを参照してください。

(1) 標準タイプ

- **補助電気ヒーター**

ユニット内に組込んで、配線工事をすることで暖房運転補助を行います。

- **加湿器（ペーパーパン式）**

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適度な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿は P670, 800, 1120, 1400, 1600 形ではできません。

- **その他**

圧力計・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

（上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）

(2) オールフレッシュタイプ

- **加湿器（ペーパーパン式）**

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適度な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はできません。

- **その他**

圧力計・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

（上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）

4. ご使用の前に

- ・お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- ・本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- ・据付工事完了後、指定のページの事項をお客様ご自身でご確認ください。「据付工事の確認と試運転(62ページ)」
- ・専門業者による据付工事終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- ・据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

4-1. 取扱い上のお願い

警告

吹き出し風を対象に直接当てない。

- ◆ 体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

冷やし過ぎない。

- ◆ 体調悪化・健康障害・食品劣化の原因になります。



禁止

室内温度を管理する。

- ◆ 体調悪化や健康障害、食品劣化の原因になります。



指示を
実行

お願い

- ・ユニット側面の外気取入口より外気を導入する場合は、外気取入量を全体風量の10%以下としてください。

※ オールフレッシュタイプの場合

室内ユニットに一次処理しない外気を直接取入れる場合、厳冬期に吸込口周辺が結露し、露が落ちる場合があります。このような場合は、室内ユニット周囲に防水処理を施すなどの処置をとってください。

- ・ユニット背面の吸込ダクトフランジより室内空気と混合した外気を導入する場合は、十分混合すると共に「使用温度範囲」の室内側吸込空気の温度になるまで一次処理してください。
- ・吹出口・吸込口を塞がないでください。
風の流れを妨げた場合、能力低下、および故障する原因になります。

1) 室内温度(室温)は最適にしてください。

- ・冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- ・冷やし過ぎは電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。

- ・冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- ・出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。

3) フィルターの清掃をしてください。

- ・フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力を低下させ、電力のムダ使いとなります。また故障の原因にもなります。
- ・フィルターの清掃は、指定のページを参照してください。「エアフィルターの清掃(51ページ)」
- ・操作部(MA リモコン)は、フィルターサイン表示が可能です。

4) 室内の温度ムラ解消に風向調節をしてください。

- 冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くにたまるからです。下吹出しなど風向を調節してください。

5) ときどき換気をしてください。

- 長時間、閉め切った室内では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、室内の空気を循環させるはたらきをします。
- 冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

6) 使用温度範囲について

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、故障の原因となります。

標準

冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	-15～43℃
湿球温度	10～25℃	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	14～30℃	—
湿球温度	—	-20～15.5℃

※ 露点温度 23℃以上で長時間運転すると、室内ユニットが結露し、水漏れの原因になります。

※ 冷房時室外吸込温度-15～-5℃で使用する場合は、安定した運転のために防雪フード（吹出ダクト、吸込ダクト）を取り付けてください。

オールフレッシュタイプ

冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	15～43℃
湿球温度	10～35℃	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	-3～25℃ ^{※1}	—
湿球温度	—	-6.5～22.5℃ ^{※2}

※1 室内側吸込空気温度が5℃以下の場合には、加湿器凍結防止のため、強制的に暖房運転することがあります。

※2 室内ユニット吸込空気を-3℃以上となるように一次処理する場合は、室外側吸込空気湿球温度-20～22.5℃での運転が可能です。

4-2. 各種運転について

(1) 暖房運転について

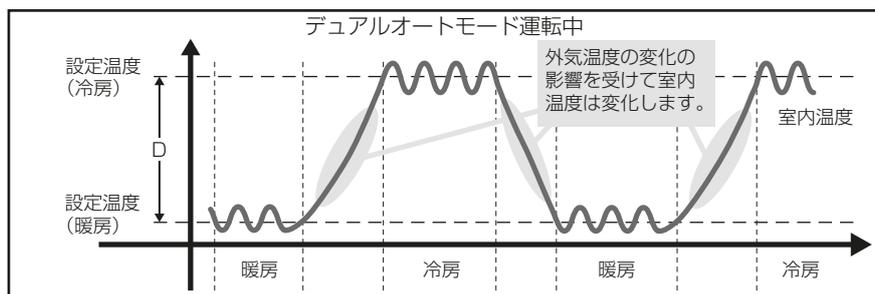
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約 1 分間、室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわることがあります。

(2) 送風運転について

- 送風運転は、室内の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

(3) デュアルオートモードについて

デュアルオートモードでは、2 値（冷房・暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り替え、2つの設定温度内に室内温度を維持します。デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。



- 冷房設定温度と暖房設定温度の差 (D) の最小値は、機能選択により変更できます。(初期値は 2℃) 詳細は指定のページを参照してください。「機能設定一覧表 (43 ページ)」
- デュアルオートモードを選択すると、冷房・暖房時の設定可能な温度範囲が狭くなります。また、最小温度差 (D) を大きくするとよりエコを意識した温度設定に制限可能ですが、設定可能な温度範囲が狭くなります。
- 受注仕様によってはデュアルオートモードを使用できない場合があります。

(4) 換気連動運転について

- ユニットの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行います。

(5) 霜取運転 (霜取中) について

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。
- この霜を溶かす運転を行っているときにリモコンに「霜取中」と表示します。霜取運転は約 7 分 (最大 12 分) で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。

※ 設定により霜取中も送風機が運転することがあります。設定についてはお買い上げの販売店 (工事店・サービス店) に相談してください。

5. 使用方法

5-1. リモコンの操作について

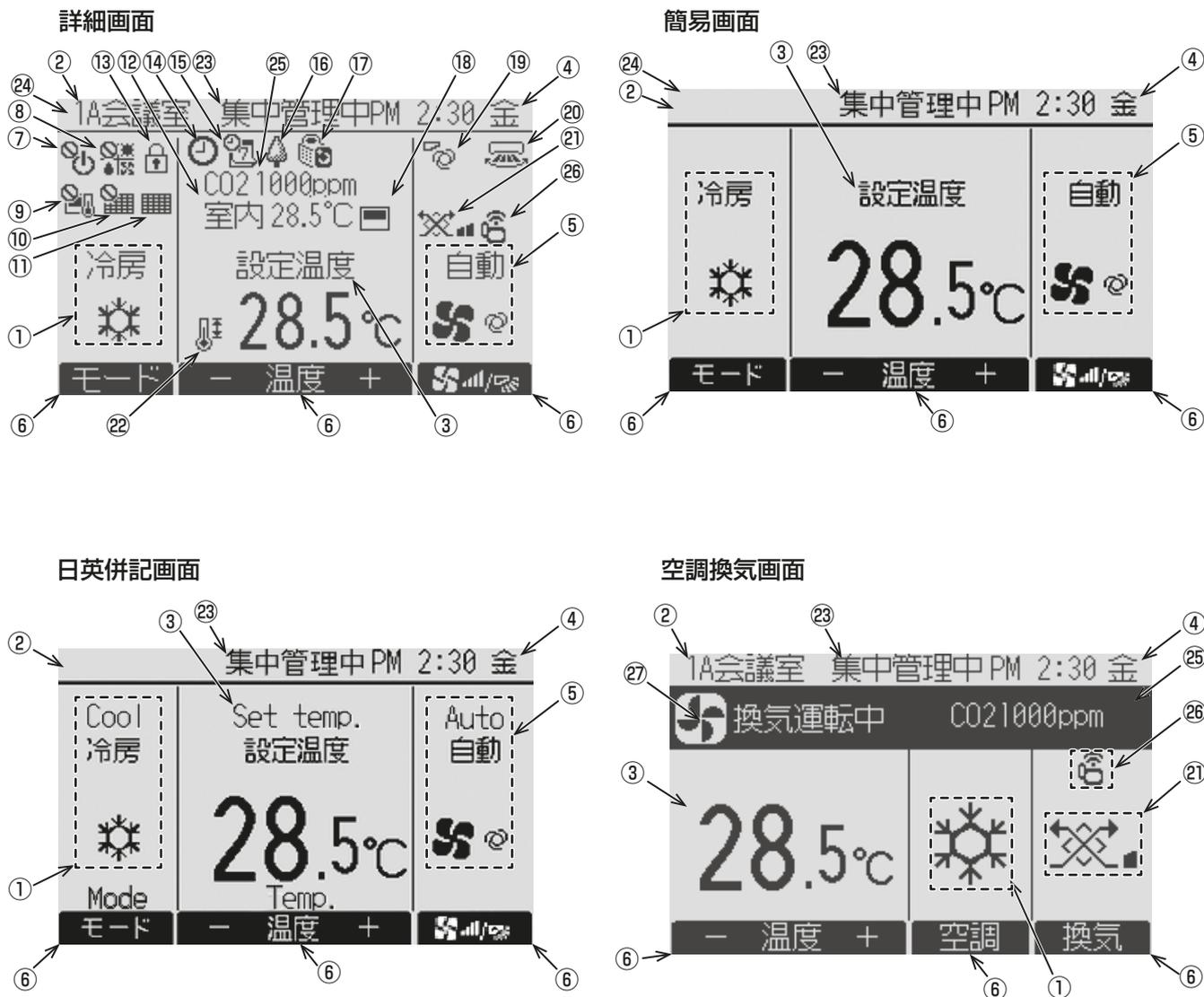
リモコンは、室内ユニットに付属しています。

5-1-1. 各部の名称とはたらき

メイン画面の表示には、「詳細」「簡易」「日英併記」「空調換気」の4種類があります。

出荷時は詳細表示となっています。「簡易」「日英併記」「空調換気」表示への切り替えは指定のページを参照してください。「メイン画面表示設定（35 ページ）」

表示部



番号	名前	はたらき
①	運転モード表示	運転中の状態を表示します。
②	リモコン名称表示	リモコンの名前を表示します。 リモコンの名前が設定されていない場合は何も表示されません。 (異常猶予中は4桁のコードを表示します)
③	設定温度表示	設定温度を表示します。
④	時刻表示	現在の時刻を表示します。
⑤	風速表示	風速の状態を表示します。
⑥	操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。
⑦	 表示	発停操作が集中管理中のときに表示します。
⑧	 表示	運転モード操作が集中管理中のときに表示します。
⑨	 表示	設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
⑩	 表示	フィルターリセット操作が集中管理中のときに表示します。
⑪	 表示	フィルターのお手入れ・ダストボックスごみ捨て時期になると表示します。 清掃中のときは  を表示します。
⑫	室内温度表示	「室内」を表示している場合、現在の室内温度を表示します。 「吹出」を表示している場合、室内ユニットの吹出温度を表示します。
⑬	 表示	操作ロック設定が有効のときに表示します。
⑭	 表示	オン/オフタイマーまたは消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。 タイマー設定が集中管理中のときは  を表示します。
⑮	 表示	週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。
⑯	 表示	省エネ制御中に表示します。 (室内ユニットの機種により表示しない場合があります)
⑰	 表示	室外サイレントモード制御中に表示します。
⑱	 表示	⑫の室内温度を検知するセンサ位置がリモコンかつ、無線センサを使用しない場合に表示します。
	 表示	センサ位置が室内ユニットの場合、無線センサの使用有無にかかわらず表示します。
	 表示	センサ位置がリモコンかつ無線センサを使用する場合に表示します。 無線センサから室内温度を取得できない場合は、リモコンで室内温度を検知し、  を表示します。
⑲	 表示	風向の状態を表示します。
⑳	 表示	ルーバー／左右風向の状態を表示します。

番号	名前	はたらき
⑳	 表示	換気の状態を表示します。
㉑	 表示	設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
㉒	集中管理中 表示	集中管理された項目を操作すると「集中管理中」を一定時間表示します。
㉓	メンテナンス異常コード 表示	異常コードを点滅表示します。
㉔	CO ₂ 濃度値表示	無線センサを使用する場合に、無線センサから取得した現在のCO ₂ 濃度値を表示します。 無線センサから取得したCO ₂ 濃度が、無線センサ設定の目標CO ₂ 濃度で設定した値以上となった場合は反転表示します。
㉕	 表示	換気操作で「連動」を設定している場合に表示します。
㉖	換気状態表示	換気運転中は「  換気運転中」を表示します。 換気停止中は「換気停止」を表示します。
㉗	[運転/停止] ボタン	ボタンを押すごとに、運転/停止を切り替えます。
㉘	[決定] ボタン	設定の決定をします。
㉙	[戻る] ボタン	前の画面に戻ります。
㉚	[メニュー] ボタン	メインメニュー画面を表示します。
㉛	液晶表示部 (バックライト付)	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。 バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。 バックライトのみ点灯します ([運転/停止] ボタンは除く)。
㉜	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。 立上げ時・異常時は点滅します。
㉝	ファンクション ボタン[F1]	メイン画面：運転モードを切り替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㉞	ファンクション ボタン[F2]	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㉟	ファンクション ボタン[F3]	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㊱	ファンクション ボタン[F4]	メイン画面：風速を切り替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。

お知らせ

- 基本運転（運転／停止、運転モード切替、風速切替、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。
- ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。
液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
- 集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示しません。

5-1-2. 画面の流れ

[メニュー] ボタンを押すと、メインメニュー画面が表示されます。

操作のしかたは指定のページを参照してください。「メインメニュー画面での操作のしかた (27 ページ)」

メイン画面

操作	リモコンの取扱説明書
タイマー	リモコンの取扱説明書
省エネ	リモコンの取扱説明書
初期設定	
基本設定メニュー	
主従設定	28 ページ
時刻設定	29 ページ
管理者用パスワード登録	30 ページ
リモコン名称設定	31 ページ
Bluetooth 設定	47 ページ
無線センサ設定	32 ページ
表示設定メニュー	
メイン画面表示設定	35 ページ
リモコン表示設定	36 ページ
コントラスト・輝度調整	40 ページ
運転設定メニュー	
自動モード設定	40 ページ
メンテナンス	
異常情報	リモコンの取扱説明書
フィルター情報	55 ページ
サービス	
試運転メニュー	室内ユニットの据付工事説明書
サービス情報登録メニュー	リモコンの据付工事説明書 (設定編)
設定	
機能選択	41 ページ
ロスナイ設定	リモコンの据付工事説明書 (設定編)
デマンドアナログ入力設定	室内ユニットの据付工事説明書
点検	
異常履歴	リモコンの据付工事説明書 (設定編)
診断	リモコンの据付工事説明書 (設定編)
データモニタリング	46 ページ
要求コード送信	46 ページ
その他	リモコンの取扱説明書

お知らせ

- ・ 設定できない項目があります。

5-1-3. 取扱説明書内のアイコンの説明

お知らせ

- 取扱説明書内のマークは、以下の内容を表しています。

	<p>設定を変更する場合、管理者用（またはサービス用）パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。</p> <div data-bbox="443 416 831 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">タイマー情報</p> <hr/> <p style="text-align: center;">管理者用パスワード入力 0000</p> <hr/> <p>入力確定:決定ボタン</p> <p style="text-align: center;">◀カーソル▶ - +</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> </div> <p style="text-align: center;">F1 F2 F3 F4</p> <p>※パスワードが一致しない場合は設定変更できません。</p> <p>[F1] ボタン：カーソルが左に移動します。 [F2] ボタン：カーソルが右に移動します。 [F3] ボタン：数字を1減らします。 [F4] ボタン：数字を1増やします。</p>
	<p>主リモコンのみ操作することができます。</p>
	<p>運転中のみ操作することができます。</p>
	<p>停止中のみ操作することができます。</p>
	<p>冷房・暖房・自動運転中のみ操作することができます。</p>
	<p>操作ロック中、集中管理中に操作することができません。</p>

5-2. 基本操作

5-2-1. 運転・停止



[1] 運転を始める

手順

- [運転/停止] ボタンを押す。
運転ランプが緑色に点灯し、運転を開始します。
ただし、運転LED点灯設定が「しない」のときは、点灯しません。



[2] 運転を止める

手順

- [運転/停止] ボタンを押す。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。



[3] 設定温度範囲

運転モード		設定温度範囲
冷房(標準、オールフレッシュ)		14℃～30℃
暖房	標準	14℃～30℃
	オールフレッシュ (吸込み)	17℃～30℃
	オールフレッシュ (吹き出し)	17℃～35℃
自動		14℃～30℃
デュアルオートモード	冷房	冷房モードの設定温度範囲 ※
	暖房	暖房モードの設定温度範囲 ※
送風・換気		設定できません。

※ 設定温度範囲制限の設定方法はリモコン (PAR-45MA-SE) の取扱説明書を参照してください。

5-2-2. 運転モード・温度設定・風速



[1] 運転モードを設定する

手順

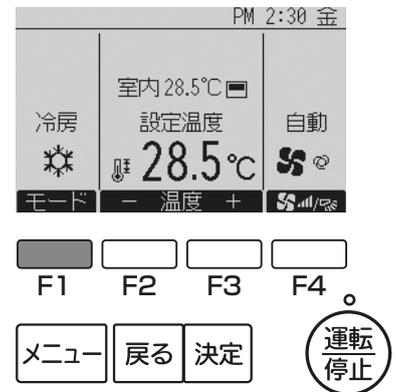
1. [F1] ボタンを押す。

ボタンを押すごとに「冷房」「送風」「自動」「暖房」の順に運転モードが切り替わります。



お知らせ

- ・ 室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。
- ・ 室内ユニットの機種によっては、デュアルオートモードになります。ただし、運転モードの表示は「自動」です。
- ・ 自動モードをリモコンに表示させるには、リモコンで自動モードを使用するに設定する必要があります。
- ・ オールフレッシュ機種は室温温度制御、吹出温度制御とも自動モードを設定しないでください。
- ・ 暖房運転時は吹き出し空気が一定の温度に達するまで、吹き出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わります。その間、「準備中」と表示されます。
- ・ 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているとき、「霜取中」と表示されます。
- ・ ユニットが以下の制御中は特殊表示として該当する制御名称がリモコンに表示されます。
 - ・ 除湿（“除湿中”を表示）
 - ・ デマンド（“デマンド”を表示）
 - ・ 圧縮機固定（“Comp 固定”表示）



[2] 温度を設定する

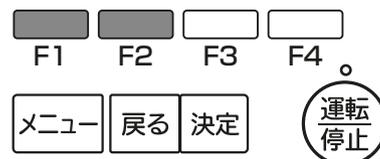
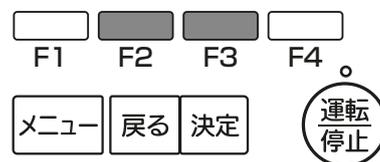
冷房、暖房、自動の場合

手順

- [F2] [F3] ボタンを押し、設定温度を変更する。
 - [F2] ボタンを押すごとに設定温度が下がります。
 - [F3] ボタンを押すごとに設定温度が上がります。

お知らせ

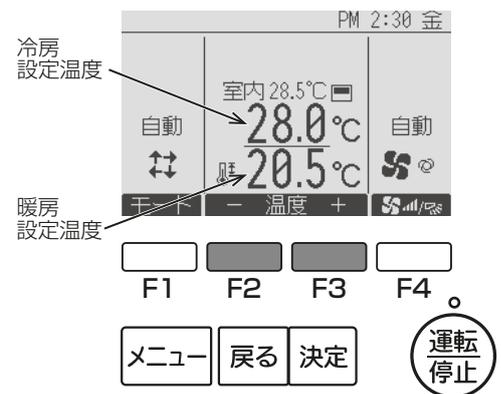
- 設定可能範囲は指定のページを参照してください。「設定温度範囲 (21 ページ)」
- 送風・換気運転の場合は設定できません。
- 設定温度は室内ユニットの機種とリモコン表示設定により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。
- メイン画面表示設定が「空調換気」の場合、設定温度は [F1] ボタンを押すごとに下がり、[F2] ボタンを押すごとに上がります。



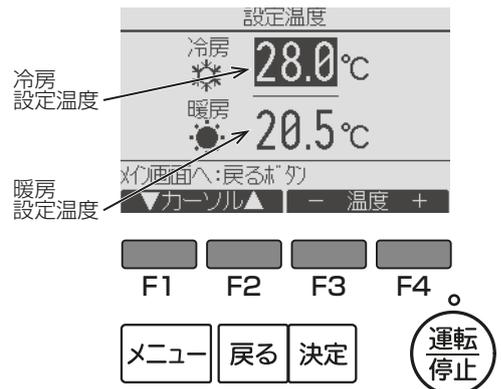
デュアルオートモードの場合

手順

1. [F2] または [F3] ボタンを押す。設定温度画面が表示されます。
 - メイン画面表示設定が「空調換気」の場合、[F1] または [F2] ボタンを押すと、設定画面が表示されます。



2. [F1][F2] ボタンを押し、冷房設定温度または暖房設定温度にカーソルを合わせる。
3. [F3][F4] ボタンを押し、設定温度（冷房設定温度または暖房設定温度）を入力する。
 - [F3] ボタンを押すごとに設定温度が下がります。
 - [F4] ボタンを押すごとに設定温度が上がります。



お知らせ

- 各モードで設定できる温度範囲は指定のページを参照してください。「設定温度範囲 (21 ページ)」
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードの設定温度とそれぞれ共通です。
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は、以下の条件で設定できます。
冷房設定温度が暖房設定温度よりも高く、温度差 D が最小温度差以上。詳細は指定のページを参照してください。「デュアルオートモードについて (14 ページ)」
- 設定温度を最小温度差未満となるように操作した場合は、最小温度差を保ったままもう一方の値も変更されます。
- 前の画面に戻りたい場合は、[戻る] ボタンを押してください。
- 5 秒操作しないとメイン画面へ戻ります。

[3] 風速を設定する

本機能を使用するには別途機能設定による設定が必要です。詳細はシステム設計・工事マニュアルを参照してください。



5-3. メニュー操作

5-3-1. メインメニュー一覧

		設定および表示項目		
操作メニュー	風向・換気操作 ※ 風向機能対応していません。			
	ハイパワー運転 ※ 本機能対応していません。			
	Bluetooth 接続情報			
タイマーメニュー	タイマー設定	オン / オフタイマー		
		消忘れ防止タイマー		
	週間スケジュール設定			
	室外サイレントモード設定			
省エネメニュー	制限設定	設定温度範囲制限		
		操作ロック		
	省エネ設定	設定温度自動復帰		
		省エネ運転スケジュール		
初期設定メニュー	基本設定メニュー	主従設定		
		時刻設定メニュー	時刻設定	
			サマータイム設定	
		管理者用パスワード登録		
		リモコン名称設定		
		Bluetooth 設定		
	表示設定メニュー	無線センサ設定		
		メイン画面表示設定		
		リモコン表示設定	コントラスト・輝度調整	
	運転設定メニュー	自動モード設定		
		換気動作設定		
	メンテナンスメニュー	異常情報		
		フィルター情報		
サービスメニュー	試運転メニュー	試運転操作		
	サービス情報登録メニュー	形名・製造 No. 収集		
		形名登録		
		製造 No. 登録		
		販売店・サービス店登録		
		サービス情報初期化		
	設定メニュー	機能選択		
		ロスナイ設定		
		デマンドアナログ入力設定		
	点検メニュー	異常履歴		
		診断	自己診断	
			リモコン診断	
		データモニタリング		
		要求コード送信		
	その他メニュー	サービス用パスワード登録		
		リモコン設定初期化		
リモコン情報				

[1] 従リモコンの制約事項

従リモコンでは以下の設定ができません。主リモコンで設定してください。
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。

操作メニュー	風向、換気操作	換気操作の連動設定
タイマーメニュー	タイマー設定	オン/オフタイマー
		消忘れ防止タイマー
	週間スケジュール 室外サイレントモード設定	
省エネメニュー	省エネ設定	設定温度自動復帰
		省エネ運転スケジュール
初期設定メニュー	基本設定	Bluetooth 設定
		無線センサ設定
サービスメニュー	サービス情報登録メニュー	形名・製造 No. 収集
	点検	要求コード送信



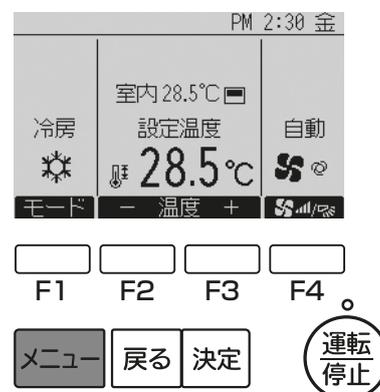
5-3-2. メインメニュー画面での操作のしかた



[1] 画面表示

手順

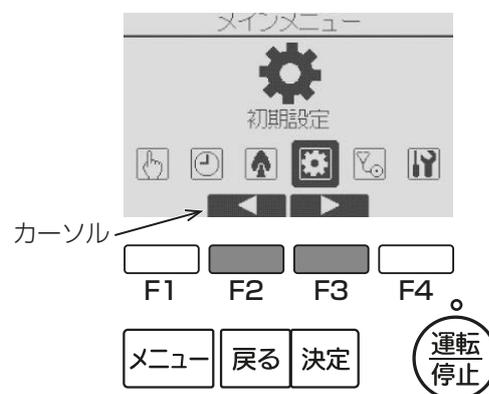
1. [メニュー] ボタンを押す。
メインメニュー画面が表示されます。



[2] 項目選択

手順

1. [F2][F3] ボタンを押す。
 - [F2] ボタンを押すとカーソルが左へ移動します。
 - [F3] ボタンを押すとカーソルが右へ移動します。



[3] 決定

手順

1. [F2][F3] ボタンを押し、カーソルを合わせる。
2. [決定] ボタンを押す。
選択した設定画面が表示されます。
メインメニュー画面で選択できる項目は以下のとおりです。
 - 操作メニュー
 - タイマーメニュー
 - 省エネメニュー
 - 初期設定メニュー
 - メンテナンスメニュー
 - サービスメニュー

5-4. 各種設定操作

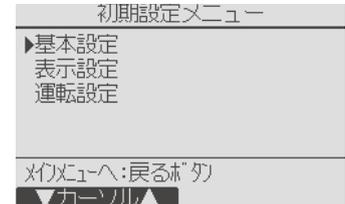
5-4-1. 初期設定



リモコン本体に各種設定を行います。

手順

1. メイン画面を表示しているときに [メニュー] ボタンを押す。
メインメニュー画面が表示されます。
2. [F2][F3] ボタンを押し、カーソルを初期設定メニューに合わせる。
3. [決定] ボタンを押す。
初期設定メニュー画面が表示されます。



各画面で下記設定ができます。

基本設定メニュー	主従設定
	時刻 (サマータイム)
	管理者用パスワード登録
	リモコン名称設定
	Bluetooth 設定 (取扱説明書を参照)
	無線センサ設定
表示設定メニュー	メイン画面表示設定
	リモコン表示設定
	コントラスト・輝度調整
運転設定メニュー	自動モード設定

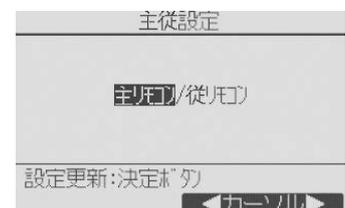
[1] 基本設定メニュー

(1) 主従設定

ペアリモコンで使用する場合、設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

手順

1. 基本設定メニュー画面で [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「主従設定」に合わせる。
2. [決定] ボタンを押す。
主従設定画面が表示されます。
3. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「従リモコン」に合わせる。
4. [決定] ボタンを押す。
設定が更新されます。
5. [メニュー] ボタンを押す。
メインメニュー画面に戻ります。
(他の設定の場合も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです。)



(2) 時刻設定

手順

1. [F1][F2] ボタンを押して、変更する項目に移動する。
2. [F3][F4] ボタンを押して、年（西暦下二桁）、月、日、時、分を変更し、
[決定] ボタンを押して時刻を更新する。更新した時刻は、メイン画面の時刻表示に反映されます。

**お知らせ**

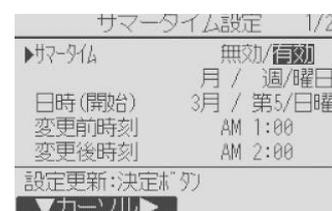
- ・「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常履歴など」に必要です。初めて使用するときや長期間使用しなかったときは時刻を設定してください。

(3) サマータイム設定

サマータイムの開始 / 終了時刻を設定します。設定した内容に従いサマータイム機能が働きます。システム内にシステムコントローラーがある場合、本項目の設定は不要です。本機能が作動した場合、タイマー機能が複数回作動する場合があります。また、本機能は時刻未設定状態では作動しません。

手順

1. [F1] ~ [F4] ボタンを押してサマータイム機能の「有効」 / 「無効」、および開始、終了時間を設定する。



サマータイム : 無効 (サマータイムが作動しません。)
 有効 (サマータイムが作動します。)

日時 (開始) : サマータイム開始日の月、週、曜日を設定する。

開始時刻 : サマータイム開始時刻を設定する。

変更時刻 : サマータイム開始時の変更時刻を設定する。

2 ページ目

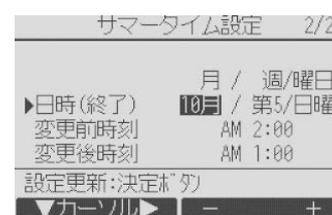
日時 (終了) : サマータイム終了日の月、週、曜日を設定する。

終了時刻 : サマータイム終了時刻を設定する。

変更時刻 : サマータイム終了時の変更時刻を設定する。

2. [決定] ボタンを押して設定を保存する。

※ 開始終了日時で 5 週を選択し、その年の設定された月に 5 週が存在しない場合は 4 週として作動します。



(4) 管理者用パスワード登録

管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。

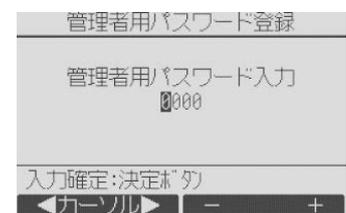
管理者用パスワードは下記項目を設定するときに必要です。

タイマー設定・週間スケジュール設定・室外サイレントモード設定・制限設定・省エネ設定・メニュー操作ロック設定

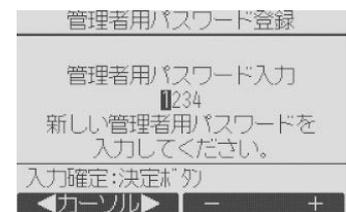
各設定の詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。

手順

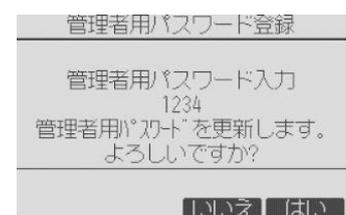
1. 基本設定メニュー画面を表示する。
2. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「管理者用パスワード登録」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押し。
管理者用パスワード登録画面が表示されます。
4. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを各桁に合わせる。
5. [F3][F4] ボタンを押し、現在設定されている管理者用のパスワードを 0～9 の数字（数字 4 桁）で入力する。



6. [決定] ボタンを押し。
パスワードが一致すると、新規パスワード入力画面が表示されます。



7. 手順 3～5 と同じ要領で、新しい管理者用パスワードを入力し、[決定] ボタンを押し。
パスワード更新確認画面が表示されます。
8. [F4] ボタン（はい）を押し。
管理者用パスワードが更新されます。
入力を取り消す場合は、[F3] ボタン（いいえ）を押してください。

**お願い**

- ・パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ

- ・管理者用パスワードの初期値は「0000」です。
- ・管理者用パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて [F1] ボタンを 10 秒間押し続けると、パスワードを「0000」に初期化できます。

(5) リモコン名称を設定する

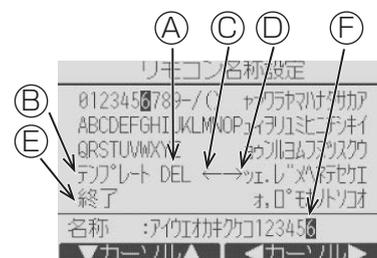
メイン画面に表示させるリモコン名称の設定をします。
 リモコン名称は半角 16 文字まで入力できます。
 (テンプレートで入力した文字は、1 文字あたり半角 2 文字分です。)



文字を入力する

手順

- [F1] ~ [F4] ボタンで入力したい文字にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
1 文字ずつ文字が入力されます。



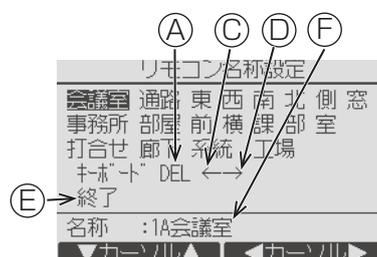
テンプレートを使用して入力する

あらかじめ登録されているテンプレートを利用し、リモコン名称を入力できます。

テンプレートの登録内容は変更できません。

手順

- [F1] ~ [F4] ボタンで、「テンプレート」(E) にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
選択した名称が入力されます。



文字を削除する

手順

- [F1] ~ [F4] ボタンで、「←」(C)「→」(D) を選択し、リモコン名称の削除したい文字にカーソルを合わせる。
- [DEL] (A) にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
1 文字ずつ文字が削除されます。

入力内容を決定する

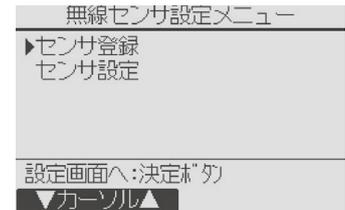
手順

- 入力完了後、「終了」(E) にカーソルを合わせる。
- [決定] ボタンを押す。
リモコン名称が設定されます。

(6) 無線センサ設定

当社指定の無線センサを接続し、室内温度や CO₂ 濃度値を無線センサから取得する場合に設定します。無線センサは Bluetooth 環境センサ（※RS-BTEVS1-M）をご使用ください。

※ ラトックシステム株式会社の製品です。



お願い

- ラトックシステム株式会社がリリースしているスマートフォンアプリと無線センサの接続はしないでください。リモコンと無線センサの接続ができなくなります。

無線センサ登録

接続する無線センサの Bluetooth アドレスを登録します。

手順

- [F1] ~ [F4] ボタンを押して Bluetooth アドレスを入力します。（工場出荷時は「00-00-00-00-00-00」です。）
 - [F1][F2]：入力カーソルを左右に移動。
 - [F3][F4]：入力カーソル部の文字を変更。
- [決定] ボタンを押して設定を更新する。リモコンに無線センサが登録され、リモコンと無線センサが接続されます。



お知らせ

- Bluetooth アドレスは無線センサ本体を確認してください。
- リモコンと接続可能な無線センサの台数は 1 台です。
- 無線センサと接続するためには以下の項目を行ってください。
 - 無線センサの電源を入れてください。
 - Bluetooth アドレスが正しく入力されていることを確認してください。
 - リモコンの Bluetooth 設定を ON にしてください。詳細はリモコンの取扱説明書（Bluetooth[®] 設定編）を参照してください。

無線センサ設定

無線センサの使用に関する項目の設定をします。

各項目を設定後、[決定] ボタンを押して設定を更新します。

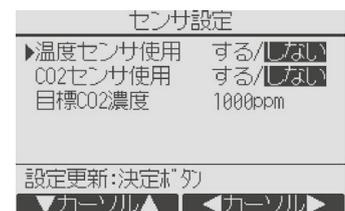
1) 温度センサ使用

無線センサから室内温度を取得し、メイン画面に表示します。

無線センサの温度センサを室内ユニットの室温検知位置とする場合、室内ユニットの室温検知位置の設定をリモコンに設定してください。**室温検知位置が室内ユニットに設定されている場合は、無線センサの温度センサ使用の設定内容にかかわらず、室内ユニットで検知した室内温度を表示します。**室温検知位置の設定方法については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

手順

- センサ設定の「温度センサ使用」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンを押して設定する。（工場出荷時は「しない」です。）
 - する：無線センサから室内温度を取得し、メイン画面に表示します。
 - しない：無線センサからは室内温度を取得しません。リモコンが検知した室内温度をメイン画面に表示します。



お知らせ

- 温度センサ使用を「する」に設定した場合、メイン画面に室内温度と「**2)CO₂ センサ使用**

手順

1. センサ設定の「CO₂ センサ使用」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンを押して設定する。(工場出荷時は「しない」です。)
 - する：無線センサから CO₂ 濃度値を取得し、センサ設定画面の「CO₂ 現在値」およびメイン画面に表示します。
 - しない：センサ設定画面の「CO₂ 現在値」およびメイン画面には CO₂ 濃度値は表示されません。

お知らせ

- CO₂ センサ使用を「する」に設定した場合、センサ設定画面の「CO₂ 値」およびメイン画面に CO₂ 濃度値が表示されていることを確認してください。
- 無線センサから取得した CO₂ 濃度に応じて接続された換気装置の換気風量連動を行う場合は、本設定を「する」に設定してください。換気操作で「連動」が設定可能になります。

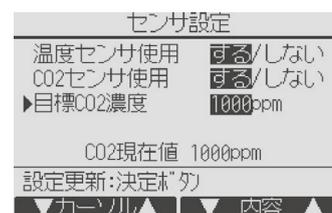
3)目標 CO₂ 濃度

無線センサから取得した CO₂ 濃度が本項目で設定した値以上になると、メイン画面に表示している CO₂ 濃度値が白黒反転で表示されます。本項目で設定した値未満になると通常表示に戻ります。

手順

1. センサ設定の「目標 CO₂ 濃度」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンを押して目標 CO₂ 濃度値を設定する。(工場出荷時は「1000ppm」です。)

目標 CO₂ 濃度は、800/1000/1400ppm から選択できます。



お知らせ

- 換気操作で「連動」を設定している場合、無線センサから取得した CO₂ 濃度が本項目の設定値を超えないよう、接続されている換気装置の換気風量を自動的に切り替えます。
- CO₂ 濃度の基準値は下記の通りです。

CO ₂ 濃度 (ppm)	CO ₂ 濃度の目安
1000	一般の場合の許容濃度 建築基準法、建築物衛生法などの基準
1500	換気計算に使用される許容濃度 学校環境衛生基準の推奨濃度

4)CO₂ 現在値

無線センサから取得した現在の CO₂ 濃度値を表示します。

CO₂ 濃度値はメイン画面にも表示されます。

お知らせ

- 無線センサから CO₂ 濃度値を取得できない場合は「---ppm」が表示されます。以下の項目を確認してください。
 - 無線センサの電源が入っていることを確認してください。
 - 無線センサの Bluetooth アドレスが正しく登録されているか確認してください。確認方法は指定のページを参照してください。「無線センサ設定 (32 ページ)」
 - 無線センサの設置場所を確認してください。リモコンと無線センサの間に遮蔽物が無いこと、距離が製品仕様範囲内であること等を確認してください。
 - 上記の確認項目を実施しても「---ppm」が表示された場合は、無線センサのマニュアルを確認してください。
- CO₂ 現在値やメイン画面の CO₂ 濃度値に何も表示されない場合は、以下の項目を確認してください。
 - リモコンの Bluetooth 設定を ON に設定しているか確認してください。詳細はリモコンの取扱説明書 (Bluetooth[®] 設定編) を参照してください。
 - CO₂ センサ使用が「しない」に設定されていないか確認してください。「しない」に設定されている場合は「する」に設定してください。設定方法は指定のページを参照してください。「CO₂ センサ使用 (33 ページ)」

お知らせ

- 無線センサの使用環境や設置場所によっては、室内の実際の CO₂ 濃度値とずれが生じる可能性があります。計測器としては使用できません。
- Bluetooth 機器がリモコンや無線センサの周辺に複数ある場合、リモコンと無線センサとの通信が正しくできないことがあります。
- CO₂ センサ使用、目標 CO₂ 濃度は CO₂ 濃度検知による換気風量の自動制御に関する設定機能です。取扱説明書に記載している「CO₂ 排出量表示」、「CO₂ 表示設定」は空調機のエネルギー使用量に基づく CO₂ 排出量の表示、または表示に関する設定であり、本機能とは別の機能となります。
- 無線センサに関する注意事項は無線センサのマニュアルを確認してください。

[2] 表示設定メニュー

(1) メイン画面表示設定

手順

1. 「詳細」 / 「簡易」 / 「日英併記」 / 「空調換気」 にカーソルを合わせ
[F3][F4] ボタンを押してメイン画面表示を設定する。
(工場出荷時は「詳細」です。)

2. 白黒反転表示

[F1][F2] ボタンを押して「白黒反転表示」を選択し、[F3][F4] ボタンを押して「白黒反転表示」の「有効」「無効」いずれかを選択する。工場出荷時は、「無効」です。白黒反転表示で「有効」を設定すると文字と背景が白黒反転して表示されます。

3. F4 ボタン長押し有効 / 無効設定

[F1][F2] ボタンを押して「F4 ボタン長押し」を選択し、[F3][F4] ボタンを押して「F4 ボタン長押し」の「有効」「無効」いずれかを選択する。

工場出荷時は、「有効」です。[F4] ボタンを 1 秒以上押すと、風向・換気操作画面に切り替わります。

4. 各設定を設定した後に、[決定] ボタンを押す。



詳細 (例)



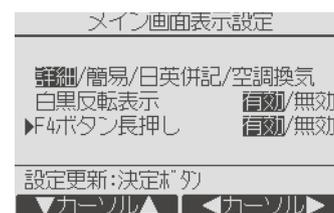
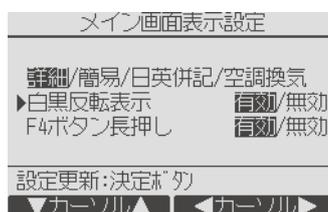
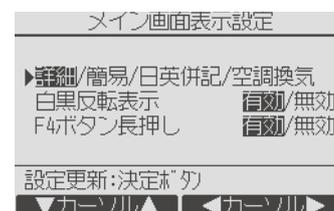
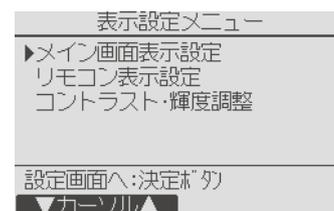
簡易 (例)



日英併記 (例)



空調換気 (例)



お知らせ

- 本設定により、メインメニュー画面など、他の画面は変わりません。
- 簡易と日英併記と空調換気では「タイマー、スケジュールなどの(制御)状態を示すアイコン」や「風向・ルーバー・換気・室内温度」が表示されません。

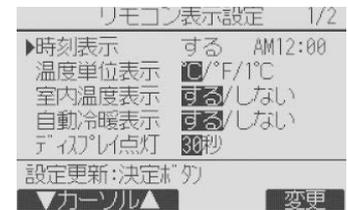
(2) 表示設定

必要に応じ、リモコンの表示に関する各項目を設定してください。

1) 時刻表示

手順

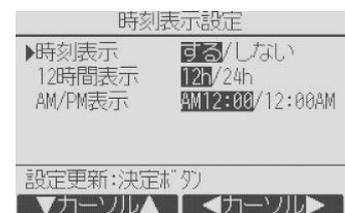
1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「時刻表示」に合わせる。
2. [F4] (変更) ボタンを押し。
時刻表示設定画面が表示されます。
3. [F1] ~ [F4] ボタンを押し、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択する。



リモコン表示設定画面

表示項目	表示形式	
時刻表示	する (メイン画面に時刻を表示します)	しない (メイン画面に時刻を表示しません)
12 時間表示	24h (24 時間表示)	12h (12 時間表示)
AM/PM 表示 ※1	AM12:00 (時刻の前に AM/PM 表示)	12:00AM (時刻の後に AM/PM 表示)

※1 12 時間表示の時のみ有効



4. [決定] ボタンを押し。
設定が更新されます。

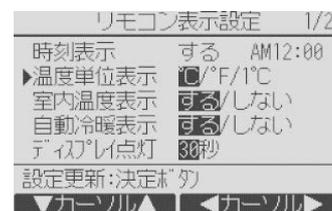
お知らせ

- 工場出荷時設定は「表示する / 12h / AM12:00 表示」です。
- 12 時間表示形式、12 時間 / 24 時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。
12 時間表示、24 時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。
12 時間表示 : AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM1:00 ~ PM11:59
24 時間表示 : 0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

2) 温度単位表示

手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「温度単位表示」に合わせる。
2. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを表示項目に合わせる。
 - ℃ …… 温度表示単位を摂氏表示にします。
室内ユニットの表示単位を 0.5℃単位で表示します。
 - °F …… 温度表示単位を華氏表示にします。
 - 1℃ …… 温度表示単位を摂氏表示（1℃単位）にします。
従リモコンの場合には本項目は表示されません。
3. [決定] ボタンを押し。
設定が更新されます。



お知らせ

- 工場出荷時設定は「℃」です。

3) 室内温度表示

手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「室内温度表示」に合わせる。
2. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを表示項目に合わせる。
 - する …… メイン画面（詳細画面）に室内温度を表示します。
 - しない …… メイン画面（詳細画面）に室内温度を表示しません。
3. [決定] ボタンを押し。
設定が更新されます。

お知らせ

- 工場出荷時設定は「する」です。
- 「する」に設定した場合でも、簡易、日英併記、空調換気画面には室内温度は表示されません。

4)自動冷暖表示

手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「自動冷暖表示」に合わせる。
2. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを表示項目に合わせる。
する …… 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」を表示します。
しない …… 自動モード運転時、「自動」のみ表示します。
3. [決定] ボタンを押し。
設定が更新されます。

お知らせ

- ・ 工場出荷時設定は「する」です。

5)ディスプレイ点灯

メイン画面のディスプレイ点灯時間を設定できます。

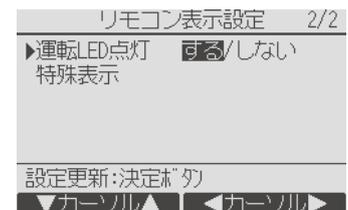
手順

1. リモコン表示設定画面の、「ディスプレイ点灯」にカーソルを合わせ、[F4] ボタンを押しして設定する。
(工場出荷時は「30 秒」です。)
点灯時間は、5/10/20/30/60 秒から選択できます。

6)運転 LED 点灯

手順

1. 「運転 LED 点灯」にカーソルを合わせ、[F3][F4] ボタンを押しして、「する」/「しない」を設定する。工場出荷時は「する」です。「しない」に設定した場合、通常運転中も運転 LED が点灯しません。



7) 特殊表示

特殊表示（除湿、デマンド表示、圧縮機固定）時の室内温度、設定温度の表示有無を設定します。

ユニットが以下の制御中に、特殊表示として該当する制御名称をリモコンに表示することができます。

除湿 …… 「除湿中」

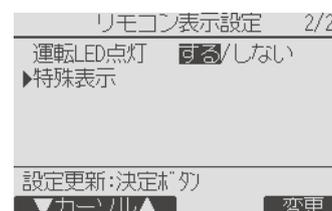
デマンド …… 「デマンド」

圧縮機固定 …… 「Comp 固定」



手順

1. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルをリモコン表示設定画面の「特殊表示」に合わせる。



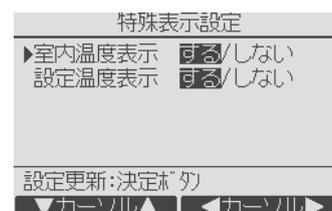
2. [F4] (変更) ボタンを押し。

特殊表示設定画面が表示されます。

3. [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「室内温度表示 / 設定温度表示」に合わせる。

4. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「する / しない」に合わせる。

	室内温度表示	設定温度表示
する	特殊表示時、室内温度を表示します。	特殊表示時、設定温度を表示します。
しない	特殊表示時、室内温度を表示しません。	特殊表示時、設定温度を表示しません。



5. [決定] ボタンを押し。

設定が更新されます。

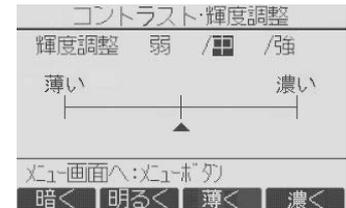
お知らせ

- 工場出荷時設定は「する」です。
- 室内温度表示では室内温度と室内ユニットの吹出温度いずれかが表示されます。
- メイン画面表示設定が詳細画面以外に設定されている場合は、本設定内容によらず室内温度は表示されません。
- 前述の「室内温度表示」で室内温度表示を「しない」に設定している場合は、本設定内容によらず室内温度は表示されません。

(3) コントラスト・輝度調整

手順

1. [F1][F2] ボタンを押してリモコンの輝度を調整する。
2. [F3][F4] ボタンを押してコントラストを調整する。

**お知らせ**

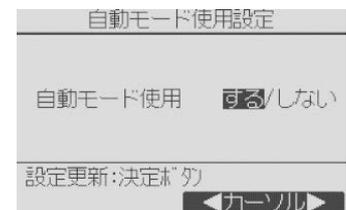
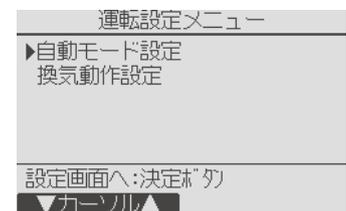
- 据付位置や照明によって表示が見えにくい場合、コントラスト・輝度を調整することで改善する場合があります。
ただし、コントラスト・輝度調整を行っても全方向から見えやすくすることはできません。

[3] 運転設定メニュー

(1) 自動モード設定

手順

1. 初期設定メニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。「初期設定 (28 ページ)」
2. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「自動モード設定」に合わせる。
3. [決定] ボタンを押す。
自動モード使用設定画面が表示されます。
4. [F3][F4] ボタンを押し、カーソルを「する / しない」に合わせる。
する …… 運転モード選択時に自動モードを表示します。
しない …… 運転モード選択時に自動モードを表示しません。
5. [決定] ボタンを押す。
設定が更新されます。

**お知らせ**

- 工場出荷時設定は「する」です。

5-4-2. 機能選択

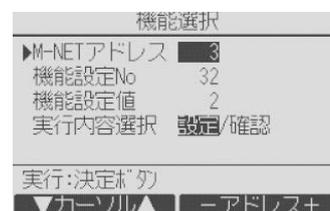
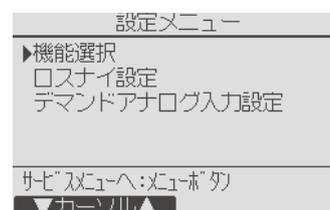
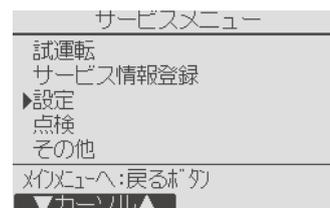


必要に応じ、リモコンから各室内ユニットの機能を設定します。

- 変更が必要な場合のみ設定してください。
- 室内ユニットの出荷設定内容・機能設定 No.・機能設定値については、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。
- 機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合、すべての設定内容を紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

手順

1. メインメニュー画面を表示する。指定のページを参照してください。「各部の名称とはたらき (15 ページ)」
2. メインメニュー画面で「サービス」を選択する。指定のページを参照してください。「メインメニュー画面での操作のしかた (27 ページ)」
3. [決定] ボタンを押す。
パスワード入力画面が表示されます。
4. 現在設定されているサービス用のパスワード (4 桁) を入力する。
5. [決定] ボタンを押す。
パスワードが一致すると、サービスメニュー画面が表示されます。
6. サービスメニュー画面で [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「設定」に合わせる。
7. 設定メニューで [F1][F2] ボタンを押し、カーソルを「機能選択」に合わせる。
8. [決定] ボタンを押す。
機能選択画面が表示されます。
9. [F1][F2] ボタンを押して室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No」、「機能設定値」を選択し、[F3][F4] ボタンを押して希望の設定に切り替える。
10. 「実行内容選択」で「設定」を選択し、[決定] ボタンを押す。
設定情報送信画面が表示されます。
11. 現在の設定値を確認する場合は、[F1][F2] ボタンを押し、確認したい室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」のうち、確認したい項目にカーソルを合わせる。
12. [F3][F4] ボタンを押し、「実行内容選択」の「確認」にカーソルを合わせる。
13. [決定] ボタンを押す。
確認中画面が表示され、確認が完了すると機能設定値が表示されます。
14. [F1][F2] ボタンを押し、室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No」、「機能設定値」のうち、変更したい項目にカーソルを合わせる。



15. [F3][F4] ボタンを押し、各項目を設定する。
16. [決定] ボタンを押し。
設定情報送信画面が表示され、送信が完了すると設定完了画面が表示されます。
17. 続けて設定を行う場合は、[戻る] ボタンを押し。
機能選択画面に戻ります。
18. 前述の手順で他の室内ユニット、「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」、「機能設定値」を設定する。

機能選択	
M-NETアドレス	3
機能設定No	32
機能設定値	2
設定中	

お知らせ

- ・ 室内制御基板をサービス交換した場合、再設定が必要です。
- ・ 室内制御基板を交換した場合、前述の手順で設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

機能選択	
M-NETアドレス	3
機能設定No	32
機能設定値	2
設定完了	
前の画面へ:戻るボタン	

アドレス	機能設定 No.	機能設定値

アドレス	機能設定 No.	機能設定値

■設定値の初期化方法

機能項目別初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレス、機能設定 No. を選択し、「機能設定値」を「15」に設定します。
全項目初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレスを選択し、機能設定 No. を「255」、「機能設定値」を「1」に設定します。全ての項目に対して、設定値を初期化します。

機能設定一覧表

機能設定 No.	機能詳細	機能設定値	設定内容
1	停電自動復帰 / 電源発停 停電復帰時の室内ユニットの動作を設定します。	1	無効
		2	停電自動復帰
		3	電源発停
25	暖房サーモ OFF 時風量 暖房サーモ OFF 時の風量を設定します。停止を選択の場合は、別売サーモを使用ください。機能設定値を“1”に設定しても静風圧設定によっては風量が下がらない場合もあります。	1	設定風量の 50 ~ 85%風量
		2	停止
		3	設定風量
27	冷房サーモ OFF 時風量 冷房サーモ OFF 時の風量を設定します。停止を選択の場合は、別売サーモを使用ください。機能設定値を“1”に設定しても静風圧設定によっては風量が下がらない場合もあります。	1	設定風量の 50 ~ 85%風量
		2	停止
		3	設定風量
58	余熱排除時間 余熱排除の時間を設定します。	1	1 分
		2	2 分
		3	3 分 5 秒
		4	4 分
		5	5 分
		6	6 分
67	自動モード種 シングル (設定温度 1 値)、デュアル (設定温度 2 値) を設定します。	1	1 値
		2	2 値
71	余熱排除動作 実施モード 余熱排除を行うモードを設定します。	1	暖房
		2	全モード
72	設定温度差最小値 自動モード種においてデュアルオートモード選択時、冷房設定温度と暖房設定温度の最小差を設定します。	3	1.5 °C
		4	2.0 °C
		5	2.5 °C
		6	3.0 °C
		7	3.5 °C
		8	4.0 °C
		9	4.5 °C
80	運転停止個別パルス入力有効切り替え 運転停止パルス入力の入力方法 (1 パルス / 2 パルス) を設定します。	1	通常設定 (個別無効)
		2	個別有効
82	4 段階デマンド切替 2 段階デマンド / 4 段階デマンドを設定します。	1	2 段階デマンド
		2	4 段階デマンド
89	ホットアジャスト時 室内送風機動作 ホットアジャスト時の室内送風機の動作を設定します。	2	冷風感防止設定
		3	循環風量確保設定
		4	冷風感防止・風量確保兼用設定
94	室外機停電時設定 (BCP 設定) 室外機停電時の室内送風機の動作を設定します。	1	不可
		2	送風運転可能
98	遠方出力 (暖房 / 冷房) 設定 遠方出力での“暖房”出力を“油回収中”へ変更します。	1	暖房と冷房
		2	油回収中と冷房
100	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	-	据付工事説明書参照
101	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	-	据付工事説明書参照
116	霜なしスタート準備機能 霜なしスタート準備機能の無効 / 有効を設定します。	1	無効
		2	有効

5. 使用方法

機能設定一覧表

機能設定 No.	機能詳細	機能設定値	設定内容
155	暖房時の個別静風圧設定 暖房時の静風圧を個別に設定します。 暖房運転時、機能設定 No.100、101 で設定した静風圧選定表の設定 No. から設定段数を低下させます。 ※ 静風圧選定表の範囲を超えた回転数に設定することはできません。 ※ 送風機線図の風量範囲外とならないように設定してください。	1	無効
		2	1 段階
		3	2 段階
		4	3 段階
		5	4 段階
		6	5 段階
		7	6 段階
		8	7 段階
		9	8 段階
		10	9 段階
		11	10 段階
		12	11 段階
		13	12 段階
		14	13 段階
158	霜取時室内ファン動作風量 霜取運転中の室内ファン動作を設定します。設定無効時（出荷時）は室内 SW3-4 が優先されます。	1	無効
		2	設定風量の 50 ~ 85%
		3	停止
		4	設定風量
161	風速 3 速設定機能 リモコン風速 3 速設定機能の無効 / 有効を設定します。 ※ 室内ファン風量が定格風量より小さい場合は無効としてください。	1	無効
		2	有効
163	圧縮機容量固定 / 除湿運転設定 圧縮機容量固定 / 除湿運転の設定をします。	1	無効
		2	圧縮機容量固定有効
		3	除湿運転設定有効
164	オールフレッシュの強制暖房運転 オールフレッシュの強制暖房運転の無効 / 有効を設定します。	1	有効
		2	無効
165	オールフレッシュの異常時室内ファン動作 オールフレッシュの異常時の室内ファン動作を設定します。	1	異常時ファン OFF
		2	異常時ファン ON
255	全項目クリア	1	全項目クリア実施

- 機能設定値が太字の項目は、出荷時設定です。
- 機能設定値欄に記載のない数値には設定しないでください。
- 機能設定 No.80、82 は両方とも機能設定値を「2」にしないでください。正常に動作しない場合があります。いずれかの機能設定値のみ「2」にしてください。
- 除湿制御仕様（受注）の場合、機能設定 No.80、82 は使用できません。出荷時設定のままとしてください。

5-5. その他の操作について

5-5-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
2. 室内・室外ユニットの電源を切る。

[2] 再度使い始めるとき

下記手順1～4の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

- ・ユニットの電源を「入」にしてから12時間以上経過後、運転を開始してください。

手順

1. フィルターを清掃して、取り付ける。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。

お願い

- ・再度アース工事を行う場合は販売店（工事店・サービス店）に相談してください。
4. ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどが無いことを確認する。
 5. 運転開始の12時間以上前からユニットの電源を「入」にする。

[3] 滴下浸透気化式加湿器の乾燥について

空調機の運転を24時間以上にわたって休止する場合には、加湿器の運転を停止して1時間程度の送風運転を行い、加湿モジュールを乾燥させてください。

乾燥運転には週間スケジュールの「送風」モードを活用ください。

5-5-2. データモニタリング機能

作業の手間を大幅に削減します。

室内に居ながら室外・室内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

詳しい操作方法はシステム設計・工事マニュアルを参照してください。

メンテナンス情報

圧縮機	積算運転時間 ※2
	ON-OFF 回数 ※1
	運転電流
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	外気温度
	吐出圧力【高圧】
	吸入圧力【低圧】
	吐出温度
	高圧圧力飽和温度
SC 液側温度 ※3	

室内ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	吸込温度 ※4
	フィルター使用時間
	FAN 運転時間 ※2

※1 圧縮機 ON-OFF 回数は 100 回単位でデータ更新します。

例：実際の圧縮機 ON-OFF 回数が 99 回の場合はリモコン表示は 0 回となり、101 回の場合はリモコン表示は 100 回となります。

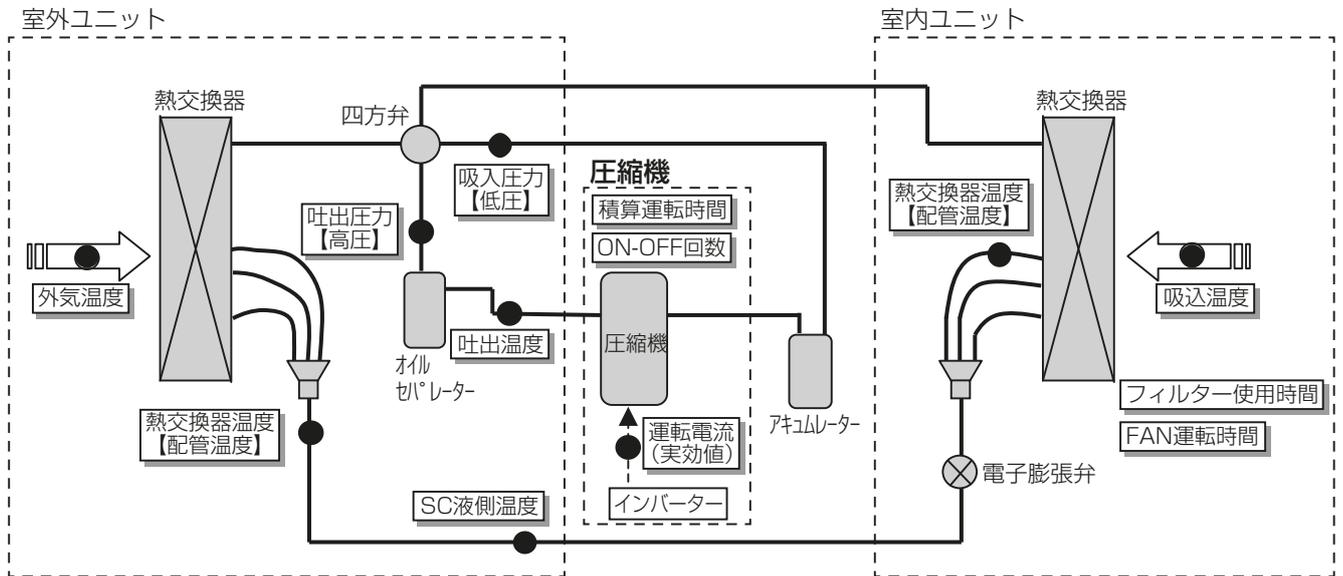
※2 圧縮機積算時間、FAN 運転時間は、10 時間単位でデータ更新します。

例：実際の運転時間が 9 時間の場合リモコン表示は 0 時間となり、11 時間の場合リモコン表示は 10 時間となります。

※3 本ユニットは、SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。

※4 オールフレッシュタイプの「吹出温度制御」時は、「吹出温度」を検知し表示します。
(表示項目は「吸込温度」のまま表示されます。)

メンテナンス情報イメージ



運転時間積算を利用するとき

• 端数の取り扱い

通電が停止するとカウントされる前の端数 (FAN 運転時間は 1 ~ 9 時間、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 ~ 59 分) は 0 に戻ります。

運転時間積算を利用するときは、通電したままにしてください。なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間 (FAN 運転時間は 10 時間単位以上、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 時間単位以上) は保持されます。

• フィルター使用時間

“フィルター清掃” 表示設定時は MA リモコン操作で使用時間がリセットできます。

非表示設定時はリセットできません。

5-6. Bluetooth 設定について

5-6-1. ご使用の前に

- ・ 室内ユニットの見えない位置から操作するときは、室内ユニットやその周辺、室内にいる人の状態などを事前に確認してから操作してください。
- ・ 子ども、高齢者、病気の方、身体の不自由な方が室内にいる場合は、室内にいる方を保護できる人がいる状態で使用してください。
- ・ 室内ユニットのある室内に人がいることがわかっている場合は、室内ユニットの見えない位置から操作することを事前に知らせておいてください。
- ・ 小さな子どもが誤って操作しないように、保護者の管理のもとで使用してください。
- ・ 本製品は 2.4GHz 帯の無線を使用しており、障害物や電子レンジ、Wi-Fi などの電波干渉により、通信状態が悪い場合は操作内容が反映されないことがあります。操作内容が反映されたことを確認してください。
- ・ 電波の届く距離は見通し約 10 m です。障害物で電波がさえぎられた場合は電波の届く距離が短くなりますので、障害物を取り除くかスマートフォン／無線センサをリモコンに近づけて使用してください。
- ・ スマートフォンによる誤操作防止のため、操作ロック機能の使用を推奨します。
- ・ Bluetooth 機器がリモコンやスマートフォン／無線センサの周辺に複数ある場合、スマートフォン／無線センサとリモコンとの通信が正しくできないことがあります。

5-6-2. 使用方法

[1] Bluetooth 接続情報

スマートフォンとリモコンを Bluetooth 接続するための情報を確認することができます。メインメニューで「操作」を選択し、「Bluetooth 接続情報」を選択します。接続用 PIN コードおよびリモコンの ID を確認することができます。

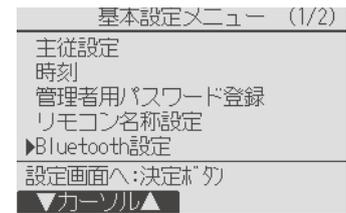
お知らせ

- ・ 管理者により Bluetooth 機能が無効に設定されている場合、接続情報を確認することはできません。



[2] Bluetooth 設定

リモコンの Bluetooth 機能および接続用 PIN コードを設定することができます。メインメニューで「初期設定」を選択し「基本設定」-「Bluetooth 設定」を選択します。



お知らせ

- 管理者用パスワードが必要です。管理者用パスワードについては据付工事説明書（設定編）を参照してください。
- Bluetooth ON/OFF :
Bluetooth 機能の ON/OFF の切替ができます。工場出荷時は OFF です。Bluetooth 機能を ON にするとメイン画面の時刻左箇所に Bluetooth のマーク [] が表示されます。停止中に [F1][F2] ボタンを同時に押すと PIN コードが 2 回点滅表示されます。
- PIN コード変更 :
スマートフォンとの接続用 PIN コードを手動で変更することができます。
- PIN コード自動更新 :
PIN コードを任意の時間で自動更新する機能の ON/OFF 切替ができます。自動更新を ON に設定した場合には時刻に任意の時間を設定してください。工場出荷時は OFF です。また、PIN コードはランダムに生成されます。



お知らせ

- Bluetooth 機能が ON に設定されたとき、メイン画面に Bluetooth アイコンが点灯します。
- 同じ部屋や隣の部屋にリモコンを複数台設置した場合、操作対象でないリモコンに接続してしまうことがあります。これを防止するためにはリモコンの PIN コードを異なる値にしてください。
- 従リモコンは、Bluetooth 機能使用不可となります。

[3] スマートフォン

- 対応 OS iOS 11.0 以上
 Android OS 7.0 以上

※ すべての端末について動作保証するものではありません。

事前に動作確認のうえ、利用することを推奨します。

動作確認機種の最新情報はダウンロードサイトで確認してください。

- 対応 Ver MELRemo Ver4.6.0 以上

スマートフォンアプリケーションは、以下の配信サービスから検索してダウンロードできます。

アプリケーション名あるいは、検索キーワードを入力してください。

- iOS : App Store
- Android : Google Play
- アプリケーション名 : MELRemo

お知らせ

- アプリケーションは無料ですが、ダウンロード時には通信料が発生します。
- iPad をお使いの方で、アプリケーションが検索できない場合は、検索結果の画面で「iPad のみ」となっている項目をタップして「iPhone のみ」を選択し、再検索してください。
- Ver4.6.0 未満の MELRemo を使用している場合は、表示されていても使用できない機能があります。最新のアップデートはダウンロードサイトで確認してください。
※ MELRemo のマニュアル (PDF ファイル) は、アプリケーションのヘルプからダウンロードできます。

6. お手入れ

警告

ぬれた手袋は使わない。

- ◆ 感電の原因になります。



ぬれ手
禁止

フィルター清浄・交換など、高所では
足を踏み外さないように作業する。

- ◆ 落下・転倒により、けがの原因になります。



指示を
実行

掃除・整備・点検をするときは、運転
を停止して、主電源を切る。

- ◆ 運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。
- ◆ 回転機器により、けがの原因になります。



指示を
実行

注意

部品端面・ファン・熱交換器のフィン
表面に触れるときは保護具を身に付ける。

- ◆ けが・感電・故障の原因になります。



指示を
実行

吸込パネルを取り付ける場合、スリン
グも取り付ける。

- ◆ 吸込パネルを開けたとき、手前に倒れると、けがの原因になります。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



指示を
実行

フィルター・熱交換器は定期的に点検・
清掃する。

- ◆ 故障の原因になります。



指示を
実行

フィルターを取り外すときは、保護具
を身につける。

- ◆ ほこりが目に入り、けがの原因になります。



指示を
実行

- ◆ お手入れの前には電源を「切」にしてから行ってください。
室内ユニット電源「切」にした後、室外ユニット電源を「切」にしてください。

6-1. お手入れの方法

6-1-1. エアフィルターの清掃

お願い

- フィルターは定期的に清掃してください。
フィルターが目詰まりし、通過面が変形する可能性があります。
使用環境にもよりますが、1回/週～月が目安です。

フィルターサイン表示設定有りの場合

- フィルターお手入れ時期になると、リモコンの詳細メイン画面に「」が表示されるので、フィルターの洗浄・清掃または交換をしてください。
※ 出荷時のフィルターサイン表示設定は「表示無し」です。
設定を変更する場合は、室内基板の DipSW の設定を変更してください。
詳細は、お買上げの販売店もしくは保守点検契約を結んでいるサービス会社に相談してください。



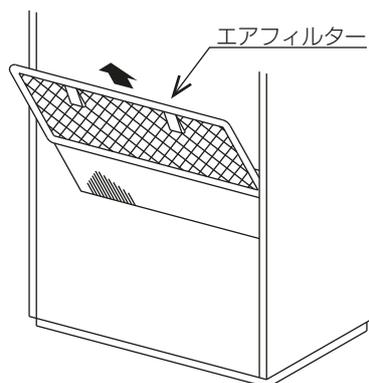
[1] フィルターの着脱

(1) 取外し

■ P224, 280 形, P265, 335-F 形

手順

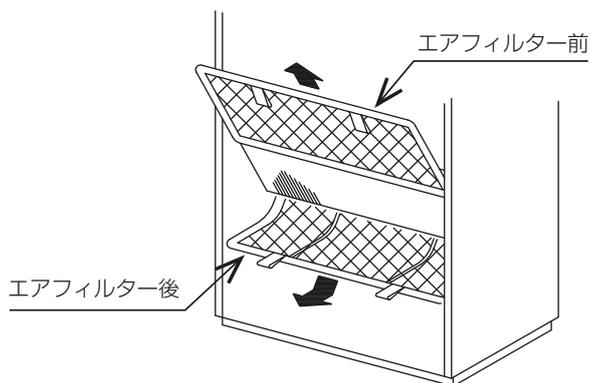
1. 吸込パネル上部のねじ（2 か所）を外し、吸込パネルを手前に引いて開ける。
2. フィルターを取り外す。
※ 吸込パネルを開けた際、板金エッジ部、電子式リニア膨張弁コイル、温度センサー部、リモコンコネクタ一部に手が触れないようにしてください。



■ P450, 560 形, P530, 670-F 形

手順

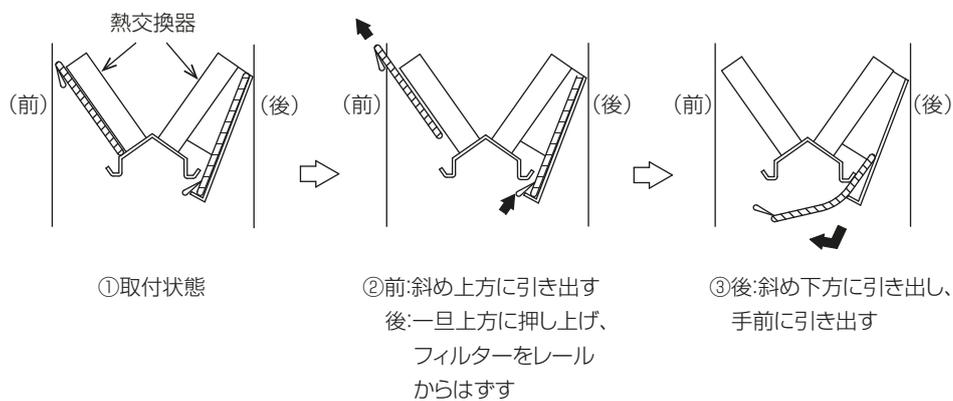
1. 本体下側の吸込パネルのツマミねじ（2 か所）を外し、吸込パネルを手前に引いて開ける。



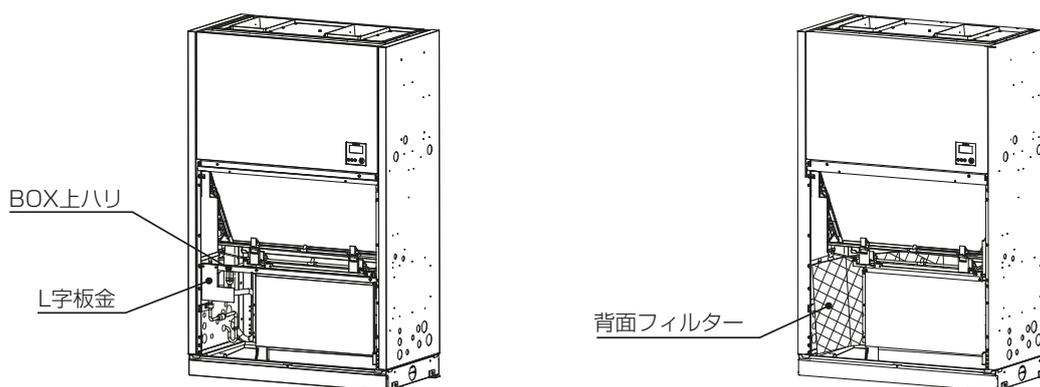
2. フィルターを取り外す。

※ エアフィルター後は、背面からでも取外し可能です。

※ 吸込パネルを開けた際、板金エッジ部、電子式リニア膨張弁コイル、温度センサー部、リモコンコネクター部に手が触れないようにしてください。



※ 水スプレー加湿器組込の場合、BOX 上ハリと L 字板金を取り外し、背面フィルターを正面左側のスペースから奥まで入れた後、フィルターレールに引掛けてフィルターを取り付ける。

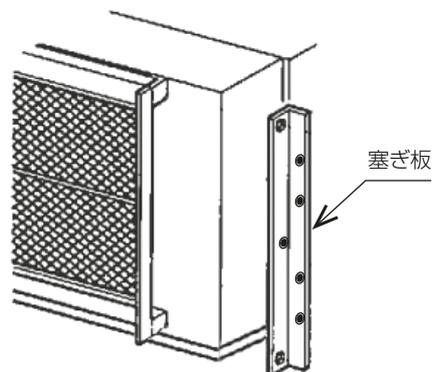


■ P670, 800, 1120 形, P1000, 1250-F 形, P1400, 1600 形, 1600-F 形

吸込フランジの内側に取り付けられています。左右どちらからでも取り出すことができます。

手順

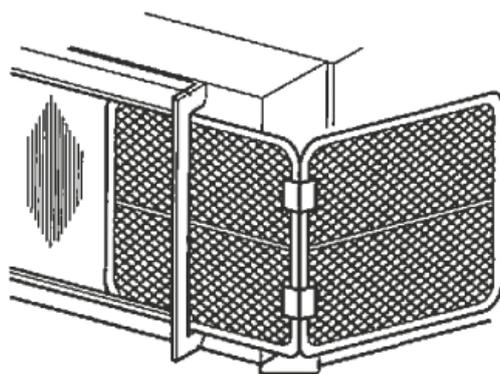
1. 吸込フランジの横側上下についているねじ（7か所）を取り外し、塞ぎ板を取り外します。



2. 吸込フランジの中に入っているフィルターを横へ引き出します。

フィルターは、

- PFAV-P670, 800, 1120 形, PFAV-P1000, 1250-F 形の場合 2 分割
- PFAV-P1400, 1600 形, PFAV-P1600-F 形の場合 3 分割



(2) 取付け

注意

吸込パネルを取り付ける場合、スリングも取り付ける。

- 吸込パネルを開けたとき、手前に倒れると、けがの原因になります。



指示を
実行

手順

1. フィルター清掃後、(1) 取外しと逆手順で行う。

お願い

- フィルターを取り外した状態で運転しないでください。内部にごみなどが詰まり、故障の原因になります。

[2] フィルターの清掃**手順**

1. フィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。
 - 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
 - 洗剤が残らないようにすすいでください。
 - 熱湯（約 50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。
 - もみ洗いや強く絞ることは避けてください。
2. 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。
 - フィルターは日光や直接火にあてて乾かさなないでください。

お願い

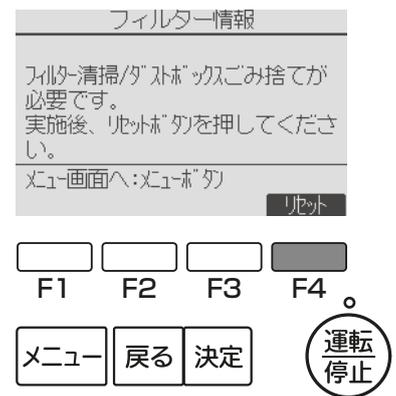
- 清掃時、フィルターを押さえている網を変形させないでください。

[3] フィルター情報・フィルターサイン解除**手順**

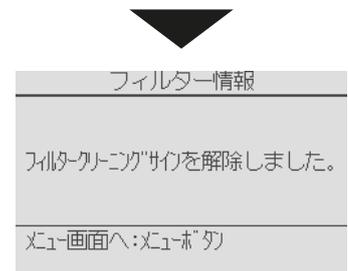
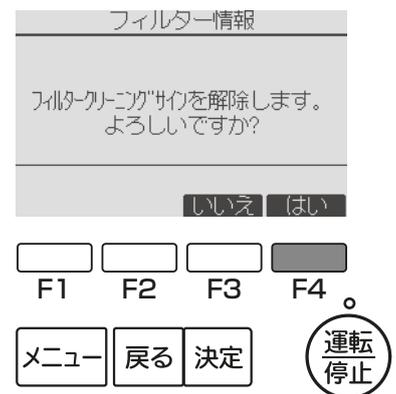
1. メンテナンスメニュー画面でカーソルをフィルター情報に合わせる。操作詳細は、指定のページを参照してください。「メインメニュー画面での操作のしかた（27 ページ）」
2. [決定] ボタンを押す。



3. [F4] ボタンを押す。
フィルター情報がリセットされます。



4. [F4] ボタン (はい) を押す。
設定確定画面が表示されます。



お知らせ

- 詳細メイン画面に「」が表示される場合、集中管理中のためフィルターサインを解除できません。
- 2台以上の室内ユニットが接続されている場合、フィルターの種類により清掃時期が異なることがあります。
- 「」表示は、代表機種（親機）の清掃時期に表示されます。フィルターサインの解除を行うとすべての積算時間がリセットされます。
- 「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
- フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。



6-1-2. パネル（表面）の清掃

注意

作業する場合は保護具を身に付ける。

- けがの原因になります。



手順

1. 中性洗剤を含ませた布で、パネルに付着した汚れを拭く。
2. 最後に乾いた布で洗剤が残らないよう拭き取る。

お願い

- ベンジン・シンナーは使用しないでください。

6-1-3. 熱交換器の洗浄

長期間の使用に伴い、エアコンの熱交換器の場合にはほこりなどが付着し、熱交換が悪くなって冷房能力が低下します。

電気ヒーターを組み込んでいる場合、ほこり・ごみの付着による故障の原因になりますので、定期的に点検・清掃をしてください。

点検・清掃についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

6-1-4. ユニット内部品のお手入れ

加湿器を組み込んでいる場合、水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合はお買い上げの販売店もしくは保守点検契約を結んでいるサービス会社にご相談ください。

7. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有料）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトを参照してください。*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会

・ JRA GL-14 について、<https://www.jraia.or.jp/index.html>

・ フロン漏えい点検制度について、<https://www.jarac.or.jp/>

お願い

- ・ 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
工具が適切でない場合、機器損傷のおそれがあります。

7-1. 機器予防保全の目安

以下の保全周期は、定期点検の結果に基づき必要になるであろう部品交換、修理実施の予測周期を示すものであり、保全周期で交換が必要ということではありません。

保全周期は、保証期間ではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000 時間
ファンモーター		20,000 時間
電子基板類		25,000 時間
熱交換器		5 年
容器 (アキュムレーターなど)		20,000 時間
膨張弁		20,000 時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000 時間
センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5 年
ドレンパン		8 年
アクティブフィルター (AF 基板、RF 基板、AC ファン) ※ ¹		4 年

※¹ 製品の運転時間が 10 時間 / 日、2500 時間 / 年よりも長くなる場合のみ対象とします。

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計 (保守点検費用の予算化など) のために役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

上表は次の使用条件が前提となります。

- 頻繁な発停のない、通常の使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常の使用における発停の回数は、6 回 / 時間以下を目安としています。)
- 製品の運転時間は、10 時間 / 日、2500 時間 / 年と仮定しています。

また、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
- 電源変動 (電圧、周波数、波形歪みなど) が大きい場所で使用する場合 (許容範囲外での使用はできません。)
- 振動、衝撃が多い場所に設置して使用する場合。
- ほこり、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気を使用する場合。
- 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24 時間空調など)

7-2. 消耗部品の点検周期目安

点検周期は、保証期間ではありません。

主要部品名	点検周期	交換周期
フィルター	1 年	5 年 ※ ¹
ヒューズ		10 年
平滑コンデンサー		

※¹ 使用環境、ほこりの量などによって異なりますので早い時期に確認してください。

- 点検周期は使用方法・環境により前後します。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。
- 点検周期に基づいた定期点検実施の場合でも保証期間外での故障修理は有料扱いとなります。

8. 製品独自のお願い事項

8-1. 廃棄について

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



注意

ユニット内の冷媒は、処理業者に依頼して回収・廃棄する。

- ◆ 大気に放出すると、環境破壊の原因になります。



この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

8-2. 移設時の据付場所について

警告

改造はしない。

- ◆ 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- ◆ 移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼してください。



- ・ 増改築・引越しのため、製品を取り外し、再据え付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）、または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。
- ・ 据え付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
- ・ ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

9. 据付工事の確認と試運転

ユニットの据付工事は、販売店（工事店）の据付工事資格保持者が関連法規・資格に基づき実施しております。据付工事完了後、次の事項をお客様ご自身でご確認ください。

販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。

運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。

内容	チェック欄
・「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
・運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
・試運転に立ち会いましたか。	
・据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

10. 仕様

10-1. 標準仕様

		PFHV-P224DMJ3		PFHV-P280DMJ3	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P224DMJ3	PUHV-P224DMJ3	PFAV-P280DMJ3	PUHV-P280DMJ3
電源		三相 200V 50/60Hz			
冷房能力 (最大)	(kW)	20.0 (22.4)		25.0 (28.0)	
冷房消費電力	(kW)	5.60		6.98	
暖房能力 (最大)	(kW)	22.4 (25.0)		28.0 (31.5)	
暖房消費電力	(kW)	6.27		7.81	
通年エネルギー消費効率 (APF2006)		5.0		5.0	
区分名		ap		ap	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1750	1650	1750	1650
	幅 (mm)	980	920	980	920
	奥行 (mm)	485	740	485	740
風量 ※3	(m ³ /min)	65	165	90	185
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	68	76.5	76	80.5
	暖房				
製品質量 ※3	(kg)	136	169	140	180

		PFHV-P450DMJ3		PFHV-P560DMJ3		PFHV-P670DMJ3		
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室外ユニット
		PFAV-P450DMJ3	PUHV-P450DMJ3	PFAV-P560DMJ3	PUHV-P280SDMJ3x2	PFAV-P670DMJ3	PUHV-P280SDMJ3	PUHV-P400SDMJ3
電源		三相 200V 50/60Hz						
冷房能力 (最大)	(kW)	40.0 (45.0)		50.0 (56.0)		63.0 (67.0)		
冷房消費電力	(kW)	13.3		15.4		19.6		
暖房能力 (最大)	(kW)	45.0 (50.0)		56.0 (63.0)		63.0 (71.0)		
暖房消費電力	(kW)	13.3		16.3		16.9		
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1900	1650	1900	1650×2	1830	1650	1650
	幅 (mm)	1200	1220	1200	920×2	1750	920	1220
	奥行 (mm)	635	740	635	740×2	1081	740	740
風量 ※3	(m ³ /min)	140	210	165	185×2	210	185	210
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	75	83	78	83.5	77	85	
	暖房							
製品質量 ※3	(kg)	240	241	240	185×2	424	185	221

10. 仕様

		PFHV-P800DMJ3		PFHV-P1120DMJ3	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P800DMJ3	PUHV-P400SDMJ3×2	PFAV-P1120DMJ3	PUHV-P400SDMJ3×3
電源		三相 200V 50/60Hz			
冷房能力 (最大)	(kW)	71.0 (80.0)		100.0 (112.0)	
冷房消費電力	(kW)	21.1		32.2	
暖房能力 (最大)	(kW)	80.0 (90.0)		112.0 (126.0)	
暖房消費電力	(kW)	21.7		32.0	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1830	1650×2	1830	1650×3
	幅 (mm)	1750	1220×2	1750	1220×3
	奥行 (mm)	1081	740×2	1081	740×3
風量 ※3	(m ³ /min)	260	210×2	340	210×3
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	82	85.5	85	87.5
	暖房				
製品質量 ※3	(kg)	430	221×2	479	221×3

		PFHV-P1400DMJ3		PFHV-P1600DMJ3	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P1400DMJ3	PUHV-P500SDMJ3×3	PFAV-P1600DMJ3	PUHV-P400SDMJ3×4
電源		三相 200V 50/60Hz			
冷房能力 (最大)	(kW)	122.0 (140.0)		140.0 (160.0)	
冷房消費電力	(kW)	39.5		39.8	
暖房能力 (最大)	(kW)	140.0 (160.0)		160.0 (180.0)	
暖房消費電力	(kW)	38.3		42.7	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1830	1650×3	1830	1650×4
	幅 (mm)	2045	1220×3	2045	1220×4
	奥行 (mm)	1081	740×3	1081	740×4
風量 ※3	(m ³ /min)	450	210×3	520	210×4
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	77	88	79	89
	暖房				
製品質量 ※3	(kg)	649	241×3	722	221×4

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 能力欄の () 内は最大値を示します。

区分名

室内機の種類	冷房能力	区分名
ダクト形	20.0kW 以上 28.0kW 以下	ap

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第 213 号 (平成 21 年) による区分名を示す。

10-2. オールフレッシュ仕様

		PFHV-P265DMJ3-F		PFHV-P335DMJ3-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P265DMJ3-F	PUHV-P224DMJ3	PFAV-P335DMJ3-F	PUHV-P280DMJ3
電源		三相 200V 50/60Hz			
冷房能力 (最大)	(kW)	22.4 (26.5)		28.0 (33.5)	
冷房消費電力	(kW)	4.97		6.06	
暖房能力 (最大)	(kW)	20.0 (22.4)		26.5 (28.0)	
暖房消費電力	(kW)	5.35		7.04	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1750	1650	1750	1650
	幅 (mm)	980	920	980	920
	奥行 (mm)	485	740	485	740
風量 ※3	(m ³ /min)	35	165	45	185
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	54	76.5	62	80.5
	暖房				
製品質量 ※3	(kg)	138	169	142	180

		PFHV-P530DMJ3-F		PFHV-P670DMJ3-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P530DMJ3-F	PUHV-P450DMJ3	PFAV-P670DMJ3-F	PUHV-P280SDMJ3×2
電源		三相 200V 50/60Hz			
冷房能力 (最大)	(kW)	45.0 (53.0)		56.0 (67.0)	
冷房消費電力	(kW)	11.6		14.3	
暖房能力 (最大)	(kW)	40.0 (45.0)		50.0 (56.0)	
暖房消費電力	(kW)	11.6		13.6	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1900	1650	1900	1650×2
	幅 (mm)	1200	1220	1200	920×2
	奥行 (mm)	635	740	635	740×2
風量 ※3	(m ³ /min)	70	210	90	185×2
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	67	83	75	83.5
	暖房				
製品質量 ※3	(kg)	207	241	207	185×2

		PFHV-P1000DMJ3-F		PFHV-P1250DMJ3-F	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P1000DMJ3-F	PUHV-P400SDMJ3×2	PFAV-P1250DMJ3-F	PUHV-P400SDMJ3×3
電源		三相 200V 50/60Hz			
冷房能力 (最大)	(kW)	80.0 (100.0)		112.0 (125.0)	
冷房消費電力	(kW)	18.9		27.3	
暖房能力 (最大)	(kW)	71.0 (80.0)		90.0 (100.0)	
暖房消費電力	(kW)	18.2		21.6	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1830	1650×2	1830	1650×3
	幅 (mm)	1750	1220×2	1750	1220×3
	奥行 (mm)	1064	740×2	1081	740×3
風量 ※3	(m ³ /min)	120	210×2	150	210×3
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	72	85.5	73	87.5
	暖房				
製品質量 ※3	(kg)	430	221×2	447	221×3

		PFHV-P1600DMJ3-F	
		室内ユニット	室外ユニット
		PFAV-P1600DMJ3-F	PUHV-P500SDMJ3×3
電源		三相 200V 50/60Hz	
冷房能力 (最大)	(kW)	140.0 (160.0)	
冷房消費電力	(kW)	33.8	
暖房能力 (最大)	(kW)	112.0 (125.0)	
暖房消費電力	(kW)	29.2	
外形寸法 ※3	高さ (mm)	1830	1650×3
	幅 (mm)	2045	1220×3
	奥行 (mm)	1081	740×3
風量 ※3	(m ³ /min)	200	210×3
騒音値 (PWL) (dB(A 特性値)) ※2	冷房	74	88
	暖房		
製品質量 ※3	(kg)	504	241×3

※1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

※2 上表の騒音値は、JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

※3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。

※4 能力欄の () 内は最大値を示します。

お願い

- ・ ユニットの使用範囲を守ってください。
範囲外で使用した場合、故障の原因になります。

11. 修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルターの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。 オールフレッシュタイプ以外の空調機が停止していないか確認してください。オールフレッシュだけでは室内温度を一定にできません。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。	そのまま約7分（最大12分）ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“ブシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴が付き滴下するためです。	—
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	—
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。	—
リモコンの運転表示が点灯しない。	電源が入っていないことが考えられます。	電源を確認してください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコン表示が点灯しません。
再運転のために停止後すぐに【運転・停止】ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	ユニットを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間待ってください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	集中コントローラーなどで、操作を制限されている場合に表示します。	—
	運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します。	—
リモコンの運転表示が点灯するが、室外ユニットが運転しない。	室内ユニット、もしくは室外ユニットへデマンド入力されている場合、室外ユニットが運転しません。	—
【運転・停止】ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	入タイマー運転をしている。	【運転・停止】ボタンを押して停止してください。
	外部入力信号にてON操作している。	—
	集中コントローラーなどで、操作されている。	—
	電源発停機能が設定されている。	電源発停機能を使用しない場合は、お買上げ販売店に相談してください。
	停電自動復帰が設定されている。	【運転・停止】ボタンを押して停止してください。 停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買上げ販売店に相談してください。
【運転・停止】ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	切タイマー運転をしている。	【運転・停止】ボタンを押して運転を再開してください。
	外部入力信号にてOFF操作している。	—
	集中コントローラーなどで、操作されている。	—

11. 修理を依頼する前に

現象	原因の確認	処置方法
[運転・停止] ボタンを押したのに停止しない。	暖房運転中に停止ボタンを押されると、余熱排除のため約 1 分間、室内ファンが回ることがあります。	-
	ペーパーパン加湿器を組込んだ場合、水蒸気発生防止のため約 3 分間、室内ファンが回ることがあります。	
	室内ユニットの設定によっては、余熱排除のため、運転停止後約 3 分間室内ファンが回ることがあります。さらに別売ペーパーパン加湿器を組込んだ場合は、最大約 6 分間室内ファンが回ることがあります。	
リモコンのタイマー運転がセットできない。	タイマー設定が無効となっている。	タイマー設定を有効にしてください。
		スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定(約 2 分)を行っています。	そのままお待ちください。
リモコンにエラーコードが表示される。	自己診断機能が作動してユニットを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。ユニットの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
風が冷たい、熱い。	オールフレッシュタイプの場合、サーモ OFF 時に外気が直接室内に吹き出します。不快に感じる場合は、設定温度をサーモ OFF になりにくい温度に変更してください。改善されない場合は、お買い上げ販売店に相談してください。	-
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	暖かな風をおとどけするための準備中です。リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのまま待つてください。	-
ファンモーターの回転数が勝手に変わる。	機器の保護のためや周囲の状況により回転数を自動で変化させることがあります	回転数が安定するまでそのままお待ちください。頻繁に回転数が変わる場合は、販売店に連絡してください。

12. 法令関連の表示

標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計使用期間よりも早期に安全上支障をきたすおそれがあります。

12-1. 標準的な使用条件

12-1-1. 使用範囲

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、故障の原因となります。

冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	- 15 ~ 43 °C
湿球温度	10 ~ 25 °C	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	14 ~ 30 °C	—
湿球温度	—	- 20 ~ 15.5 °C

- 露点温度 23 °C 以上で長時間運転すると、室内ユニットが結露し、水漏れの原因になります。
- 冷房時室外吸込温度が 10 °C 以下で使用する場合は、安定した運転のために防雪フード（吹出ダクト、吸込ダクト）を取り付けてください。また、ユニット周囲を防雪ネット防雪棚で囲うなどの対策を行ってください。

12-1-2. 使用条件・環境

下記使用条件で使用してください。

- 下記の保守・点検周期も、同条件で使用した場合を示します。
 - 頻繁な発停のない、通常の使用条件であること（機種によって異なりますが、通常の使用における発停回数は、1 時間あたり 6 回以下を目安としています）。
 - 製品の運転時間は、1 日あたり 10 時間、1 年あたり 2500 時間と仮定しています。
- また、下記の項目に適合する環境で使用することは避けてください。使用する場合は「保守周期」の短縮を考慮してください。
 - 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合
 - 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所で使用する場合（許容範囲外での使用はできません）
 - 振動、衝撃の多い場所に設置して使用する場合
 - ほこり、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気を使用する場合
 - 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24 時間空調など）

12-2. 工事設計認証について

ユニットに搭載しているリモコンは、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。

12-3. 商標について

- iPhone, iPad, iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOS の商標は Cisco Systems Inc. の米国およびその他の国々のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は Apple Inc. が運営する iPhone, iPad, iPod touch 向けアプリケーションソフトウェアのダウンロードサービスを行えるサービスの名称です。
- Android、Google Play は、Google LLC の商標です。
- Galaxy は、Samsung Electronics Co.,Ltd. の商標または登録商標です。
- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら登録商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。



13. 保証とアフターサービス

13-1. 保証について

- 保証書は室内ユニットに添付しています。室内ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は、必ず「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、販売店（工事店）からお受け取りください。
保証書は内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日（据付日または試運転完了日）から1年間です。
- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

13-2. 保証できない範囲

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障。
- お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障。
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障。
- 車輛、船舶などに搭載された場合生じる故障。
- 据付工事による故障。
- 室内のフィルター詰まり、ドレンパン詰まりなどによる故障。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお客様名、据付日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

13-3. 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

13-4. 修理を依頼される時は（出張修理）

- まず、指定のページにしたがってお調べください。「修理を依頼する前に（67ページ）」
なお、不具合があるときは、ご使用中を中止し必ず配線用遮断器（ブレーカ）を切（OFF）にしてから、お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
- 離島および離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店（工事店・サービス店）にご相談ください。点検・診断のみでも有料になることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

- ご連絡いただきたい内容（出張修理対象商品）

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日： 年 月 日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

13-5. お問い合わせ

- ご不明な点や修理に関するご相談は、まずお買い上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせください。
- お買い上げの販売店（工事店・サービス店）に依頼できない場合は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）へお問い合わせください。
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承願います）

●お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - 法令等の定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

14. 環境関連の表示

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

• 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



14-1. 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

14-2. フロン排出抑制法

ユニットを廃棄されるときは、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買上げの販売店（工事店・サービス店）、または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）に相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



室内ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、ユニットに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを確認していただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内ユニットにはフロン類の種類・GWP（地球温暖化係数）が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 冷媒の種類および数量並びに GWP（地球温暖化係数）は、室外ユニットに記載されています。
- 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ換えた場合には室外ユニットの〈冷媒量記入のお願い〉の記入欄に必要事項を記入してください。

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水がもれる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か
お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2024年2月作成
WT10657X01